



機能門柱FF

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

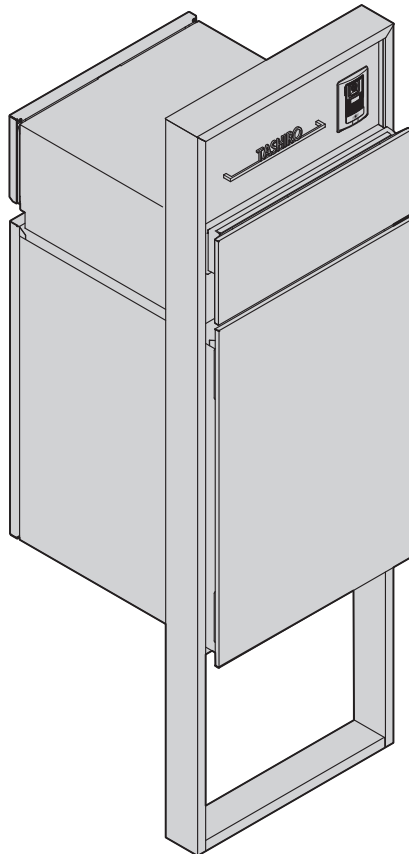
- 警告** ・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
- 注意** ・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

- 施工上のお願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 補足** ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。



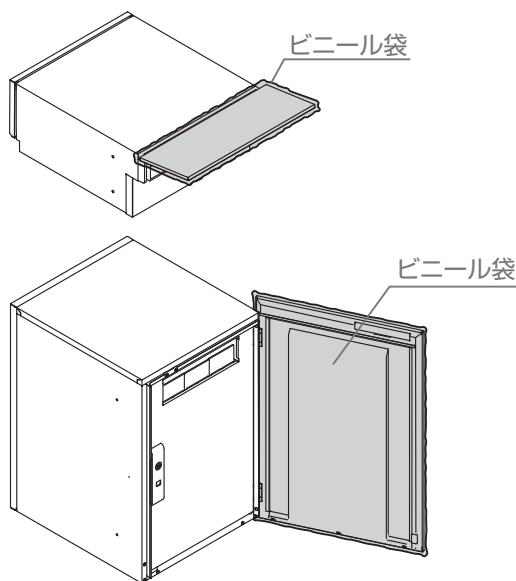
施工の前に

▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

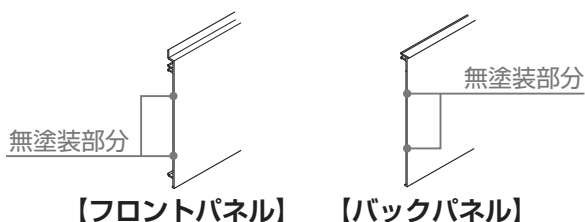
施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 塗装色のセンターブロックは製造上、フロントパネル、バックパネルの端部に塗装が施されていない部分がありますが、性能上問題はありません。
- ポスト、宅配ボックスの天面に貼られております埋め込みラインシールをはがしてください。埋め込み仕様のみで使用するものになります。
- ポストと宅配ボックスの取出し口蓋には、養生用のビニール袋が付いています。キズ防止のため、施工完了までは外さないでください。



補 足

- 塗装色のセンターブロックは製造上、フロントパネル、バックパネルの端部に塗装が施されていない部分がありますが、性能上問題はありません。



【フロントパネル】

【バックパネル】

施工上のご注意

▲ 注意



- 納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるようにしてください。
- ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
 ※φ3ねじ: 1.0N・m±0.2N・m (10±2kgf・cm)
 ※φ4ねじ: 2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 ※φ5ねじ: 3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 柱の水抜き穴をふさがないでください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。



施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- フロントパネル、バックパネル、中棧の穴あけ加工を行なう場合は、金具用の工具を使用してください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

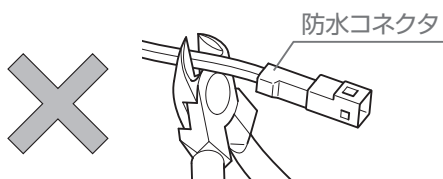
施工上のご注意

つづき

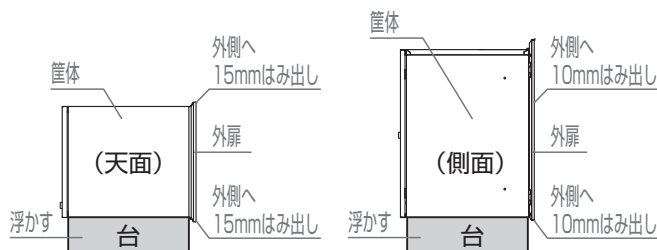
施工上のお願ひ



- 製品の防水コネクタを切除しないでください。故障や不点灯の原因となります。



- 宅配ボックスの外扉の外形は、筐体の外形よりも四方にはみ出して大きいため、本体を仮置きする際や穴加工する際は、外扉の縁が地面に接触しないように、厚み20mm以上の台などで本体を仮置きしてください。接触させると自重負荷により外扉が変形する原因となります。



宅配ボックスを寝かせて配置し真横から見た図

宅配ボックスを立たせて配置し真横から見た図

基礎工事について

⚠ 注意

- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因となります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

施工上のお願ひ

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因となります。

電気配線工事について

⚠ 警告

- AC100Vの電線の配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- LED照明（サインライト・フットライト・バックライト）は、DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電の原因となります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。

施工上のお願ひ

- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●ねじ締め

No.	ページ	チェック内容	
1	P.14	ポスト・宅配ボックスは【1c】 $\phi 5 \times 16$ トラストッピンねじ 3 種 を使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>
2	P.27	上棧取付時に【1b】 $\phi 4 \times 10$ サラタッピンねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか？	<input type="checkbox"/>

●配線

No.	ページ	チェック内容	
1	P.24	照明をつける際にサインやインターホンの取付けに干渉しない位置にACアダプタを取付けましたか？	<input type="checkbox"/>
2	P.27	サインライトをつける時の上棧固定の際に配線を挟み込んでいないか確認しましたか？	<input type="checkbox"/>

●水平・垂直

No.	ページ	チェック内容	
1	P.17	機能門柱 FF 本体は垂直に設置されていますか？	<input type="checkbox"/>

●埋め込み

No.	ページ	チェック内容	
1	P.17	水抜き穴がふさがれていませんか？	<input type="checkbox"/>

●組み込み

No.	ページ	チェック内容	
1	P.25	柱の上部が開いていないでしょうか？	<input type="checkbox"/>

※施工後の確認は P.28 を確認ください。

梱包明細表

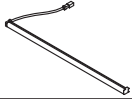
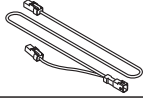
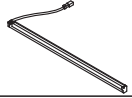

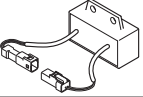
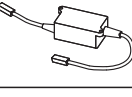



【1】 フレームセット		
名 称	略 図	員 数
機能門柱FF本体		1
上棧		1
センターブロック 固定部品R		1
センターブロック 固定部品L		1
配線穴ふさぎシール		2
配線用針金 (L=約3m)		1
【1a】φ4×8サラ タッピンねじ2種D=6		2
【1b】φ4×10サラ タッピンねじ3種 D=6【ブロンズ】		2
【1c】φ5×16トラス タッピンネジ3種		8
取扱説明書(EXM142)	—	1
取付説明書(EXM141)	—	1





【2】 センターブロック				
名 称	略 図	員 数		
		加工なし	インター内蔵	インター内蔵(左)
フロントパネル 加工無し		1	—	—
フロントパネル インターホン内蔵用(右)		—	1	—
フロントパネル インターホン内蔵用(左)		—	—	1
バックパネル		1	1	1
ファンクションパネル 見込部材		2	2	2
ドアホンカバー		—	1	1
ドアホン固定金具		—	1	1
【2a】φ4×10 トラスタッピンねじ3種		4	4	4
【2b】M4×30 トラス小ねじ		—	2	2



【3】 ボックスセットKN			
名 称	略 図	員 数	
		右開き	左開き
エクスポストKN		1	1
宅配ボックスKN (右開き用)		1	—
宅配ボックスKN (左開き用)		—	1
郵便シール		2	2
宅配シール		2	2
バンポン 郵便ポスト用		2	2
隙間パッキン 郵便ポスト用		3	3
隙間隠しクッション材		2	2
キー		4	4
取扱説明書 <EXM-138>	—	1	1
取扱説明書 <EXM-136>	—	1	1
取付説明書 <EXM-137>	—	1	1
取付説明書 <EXM-135>	—	1	1







※郵便シールは投函扉正面、宅配シールは外扉正面の任意の位置に貼ってください。

梱包明細表


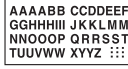




【4】LED照明		オプション	
名 称	略 図	員 数	
		サインライト	サインライト+フットライト
サインライト		1	1
渡り配線ケーブル		—	1
フットライト		—	1
足元灯取付部品		—	2
明るさセンサ		1	1
ACアダプター		1	1
【4a】φ4×12 サラスタッピンねじ3種 D=6		—	2
【4b】φ4×10 トラスタッピンねじ3種		2	2
【4c】φ4×12 トラスタッピンねじ3種		1	1

【5】切り文字サイン		オプション		
名 称	略 図	員 数		
		大	中	小
切り文字サイン(大)		1	—	—
切り文字サイン(中)		—	1	—
切り文字サイン(小)		—	—	1
【5a】M3×10ナベ小ねじ		3	2	2




【6】抜き文字プレートサイン		オプション
名 称	略 図	員 数
抜き文字プレートサイン		1
【6a】M4×10ナベ小ねじ		2

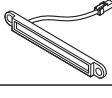

【7】ガラスサイン		オプション	
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
ガラスサイン		1	1
【7a】化粧ねじM4用		2	2
【7b】M4×20ナベ小ねじ(PW)		2	2
【7c】SUSスペーサー		2	2
【7d】M4ゴムワッシャー		4	4
ネームシール		2(※)	—

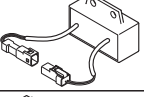
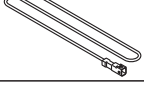

※黒文字と白文字の2種類を同梱しています

【8】ガラスサイン		オプション	
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
ガラスサイン		1	1
ネームシール		2(※)	—
【8a】化粧ねじM4用		4	4
【8b】M4×20ナベねじ(SW+PW)		4	4
【8c】ゴムスペーサー L=6		4	4
【8d】M4ゴムワッシャー		4	4



※黒文字と白文字の2種類を同梱しています


【9】木目調サイン		オプション
名 称	略 図	員 数
木目調サイン		1
【9a】M4×8ナベ小ねじ		2
【9b】M4平座金		2








【10】バックライト(木目調サイン用)		オプション
名 称	略 図	員 数
バックライト		1
【10a】φ4×12トラスタッピンねじ3種 D=8		2

【11】明るさセンサーセット(木目調サイン用)		オプション
名 称	略 図	員 数
明るさセンサー		1
延長ケーブル(1m)		1
【11a】φ4×10トラスタッピンねじ3種 D=8		2




梱包明細表

【12】 アクリルバーサイン オプション		
名 称	略 図	員 数
アクリルバーサイン		1
【12a】M4×10トラス小ねじ		2





【13】 切り文字サインA~D オプション					
名 称	略 図	員 数			
		A	B	C	D
切り文字サインA		1	—	—	—
切り文字サインB		—	1	—	—
切り文字サインC		—	—	1	—
切り文字サインD		—	—	—	1
【13a】M3六角ナット		2	—	—	—
【13b】M4六角ナット		—	2	2	2



【14】 SUS切り文字バーサイン オプション		
名 称	略 図	員 数
SUS切り文字サイン		1
【14a】化粧ねじ		2
【14b】φ4×16ナベ小ねじ D=7(SW+PW)		2
【14c】φ4×20ナベ小ねじ D=7(SW+PW)		2(※)
【14d】SUSスペーサー		2
【14e】シリコンワッシャー		2
【14f】M4平座金		4

※ 【13c】 は使用しません。

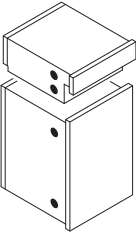
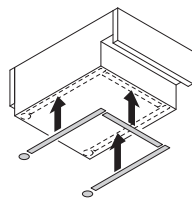
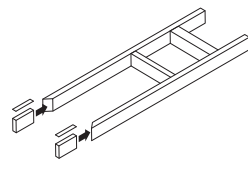
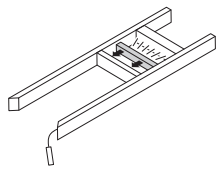
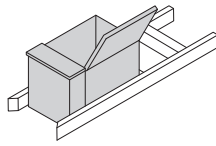
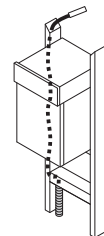
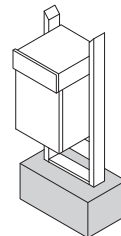
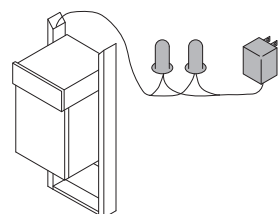
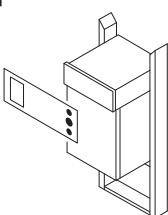
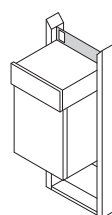
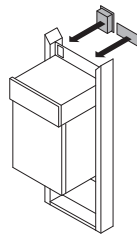
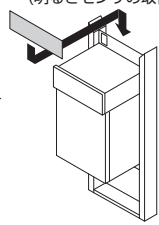
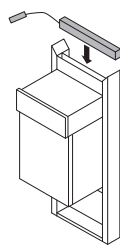
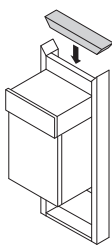
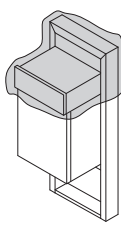
【15】 ステンレスサイン オプション			
名 称	略 図	員 数	
		ネームシールタイプ	特注タイプ
ステンレスサイン		1	1
ネームシール		1(※)	—
【15a】 M4六角ナット		4	4

※黒文字のみです。

【16】 チタン切り文字サイン オプション		
名 称	略 図	員 数
チタン切り文字サイン		1
施工補助紙		1
【16a】M3六角ナット		4
【16b】M3平ワッシャー		2
取付説明書(EXM145)	—	1

【17】 切り文字サインF W220 オプション		
名 称	略 図	員 数
切り文字サインF W220		1
施工補助紙		1
取付説明書(EXM146)	—	1

施工の流れ

1 ポスト、宅配ボックスに穴加工  P.11	2 パッキン、バンボンの貼付け  P.11	3 センターブロック固定部品の取付け  P.11	4 フットライトの配線、取付  P.12
5 ポスト、宅配ボックスの取付け  P.14	6 電源ケーブルの引き出し  P.15	7 機能門柱FF本体の埋め込み  P.17	8 電源ケーブルの接続  P.17
9 フロントパネル、バックパネルの加工  P.18	10 フロントパネルの取付け  P.20	11 サイン、インターホンの取付け  P.21~24	12 バックパネルの取付け <small>(明るさセンサの取付け)</small>  P.25
13 サインライトの取付け  P.26	14 上棧の取付け  P.27	15 照明の点灯確認  P.27	

施工上のお願

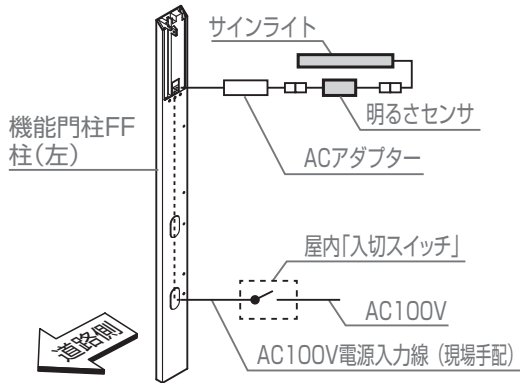
- 施工完了まではポストの投函フタ、宅配ボックスの外扉のビニールは外さないでください。
- 手順5において梱包外箱と梱包内の積層ダンボール(2本)を使用しますので廃棄しないでください。

配線図

施工上のお願い

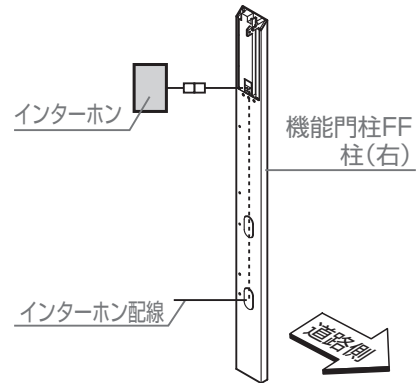
●明るさセンサを取付ける場合は、障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離を150mm以上あけてください。

サインライト(オプション)

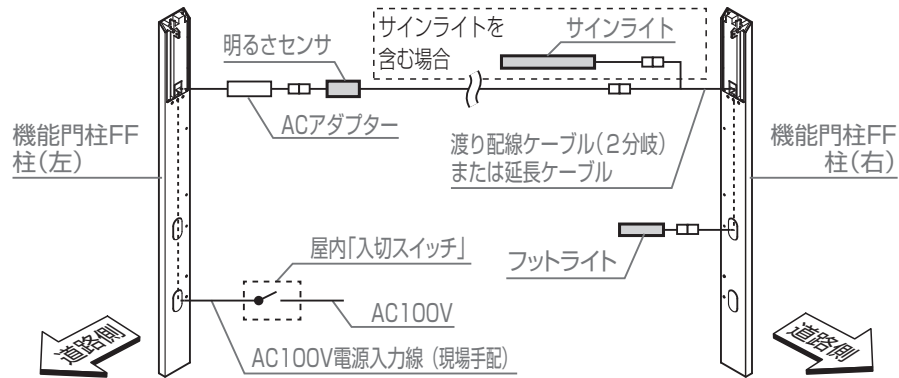


インターホン(オプション)

※インターホンが右側に取付く場合の図になります。



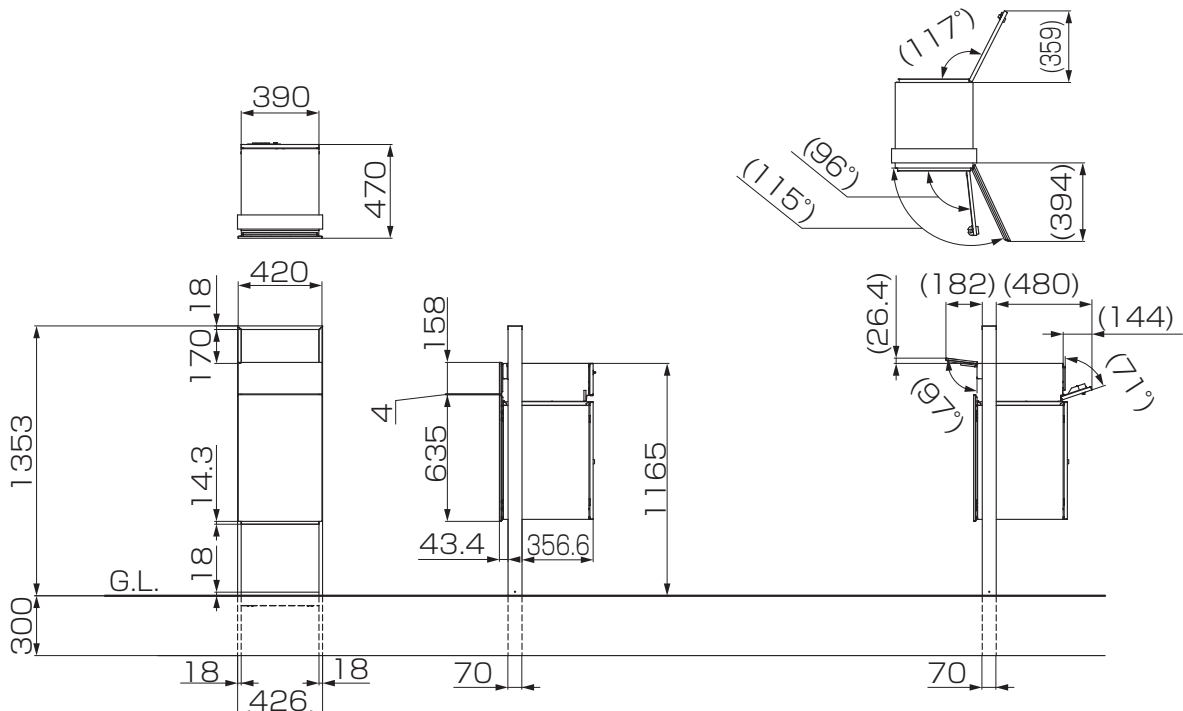
サインライト+フットライト (オプション)



1 基本寸法と各部名称

施工上のお願い

●明るさセンサを取付ける場合は、障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離を150mm以上あけてください。

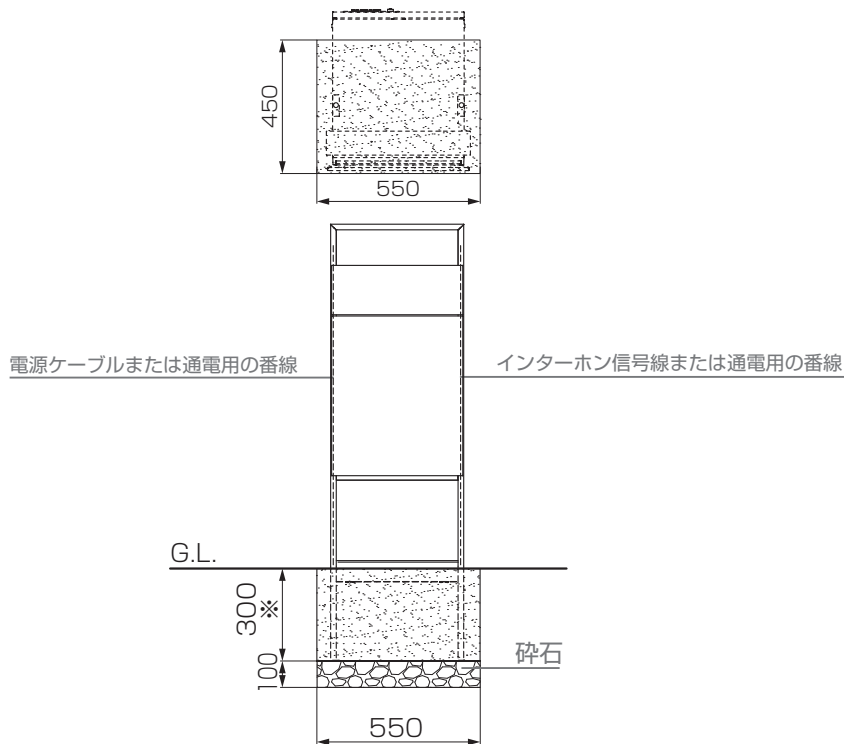


2 基礎寸法と配線工事

2-1 基礎寸法

施工上のお願い

- 土間勾配が付いている場合、埋め込み深さ(※印寸法)は260mmまで小さくできます。(埋め込みを40mm浅くすることが可能)

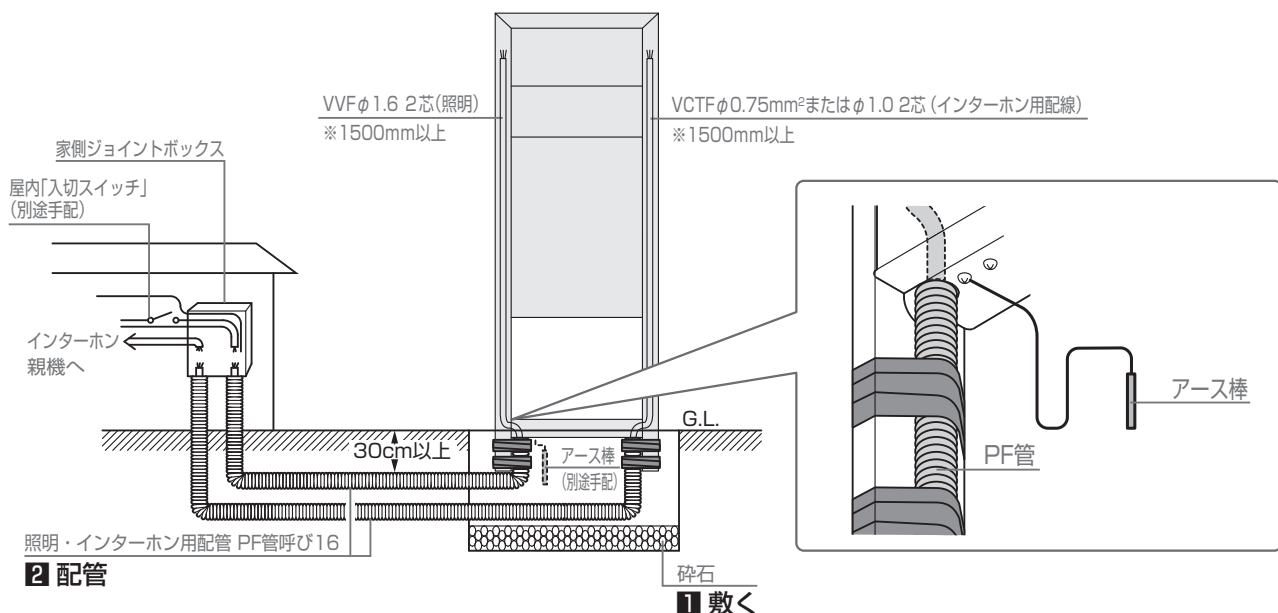


2-2 配線工事

- 1: 基礎穴を掘り、砕石を敷く
- 2: 電装品用の配線を配管

施工上のお願い

- アース(D種接地工事)をとってください。
- 照明とインターホン用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。照明のお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- EEスイッチ等の自動点滅器は使用しないでください。使用すると正常に作動しない場合があります。
- PF管のファンクション側の端部は、パテ埋めなどでの処理を施してください。※P15参照
- 配線の長さは、各仕様によって変わります。配線の長さは、仕様に合わせてください。



3 ポスト、宅配ボックスの取付け

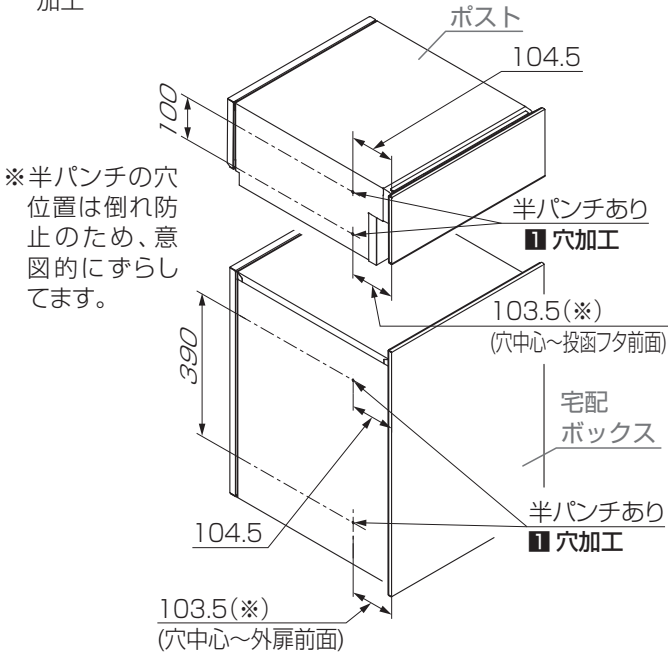
3-1 穴加工

施工上のお願い

- プラスドライバーを当て、ハンマーなどで叩いて穴をあけてください。固い場合φ7の穴をドリルであけてください。
- 反対面も同様の穴加工を行ってください。
- あけた穴にバリがある場合には、バリ取りを行なってください。
- 穴加工の際は、ダンボールなどをポスト、宅配ボックスの下に敷き、キズが付かないようにしてください。
- サビを防ぐために、穴加工後には筐体内外の清掃を行い、切粉が残らない様に注意してください。

3-1-1 穴加工

- 1: ポスト、宅配ボックスの半パンチ加工部をハンマーなどで穴加工

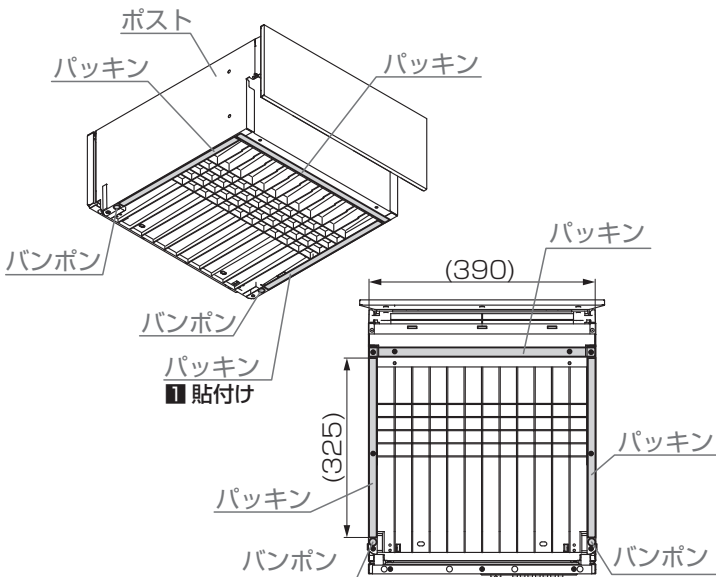


3-1-2 バンポン、パッキンの取付け

- 1: バンポン、パッキンをポストの裏面に張付け

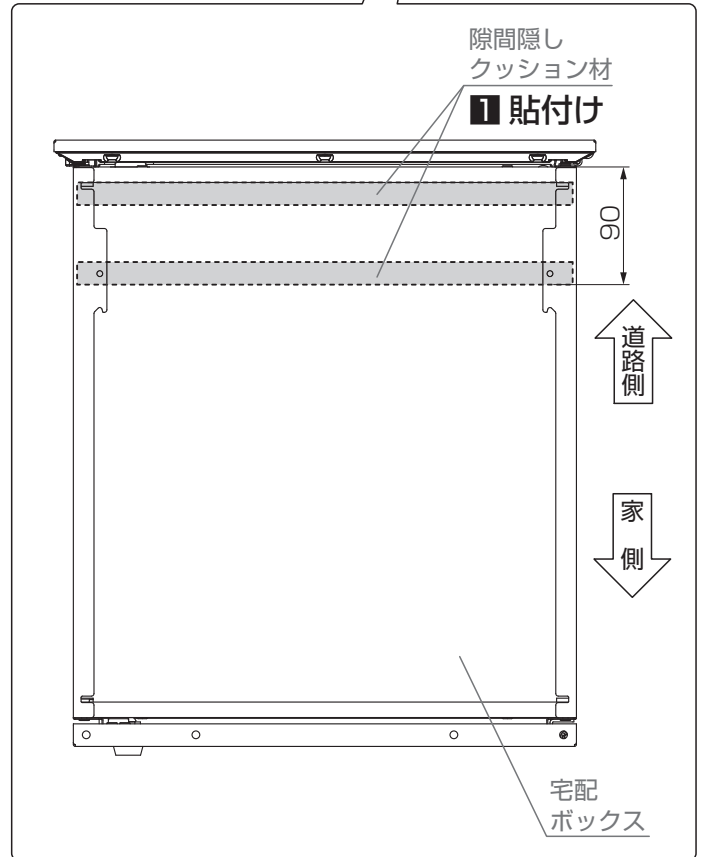
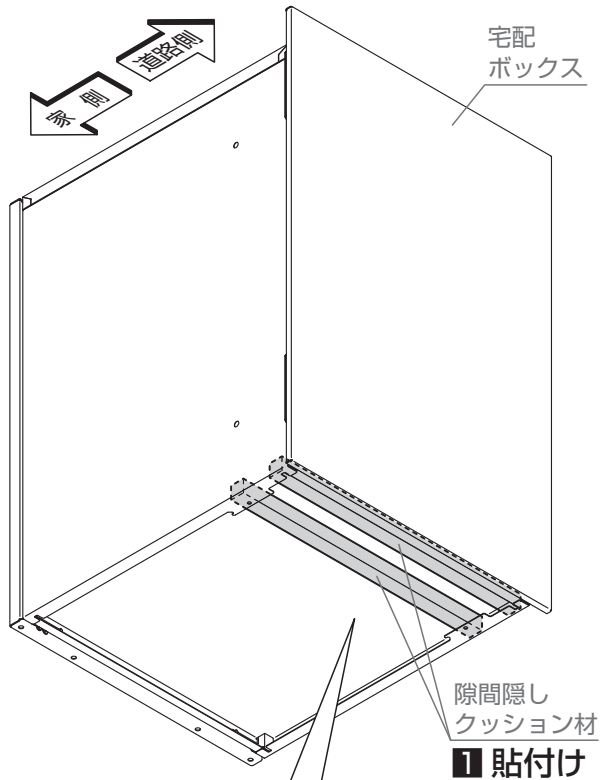
施工上のお願い

- パッキンは390mmが3本ありますので、側面部は長さを合わせて現場切断してご使用ください。



3-1-3 隙間隠しクッション材の貼付け

- 1: 隙間隠しクッション材を宅配ボックス底面の道路側の板金折り返しに沿わせて1本貼付け
もう1本は底面の前面から90mmの位置に貼付け



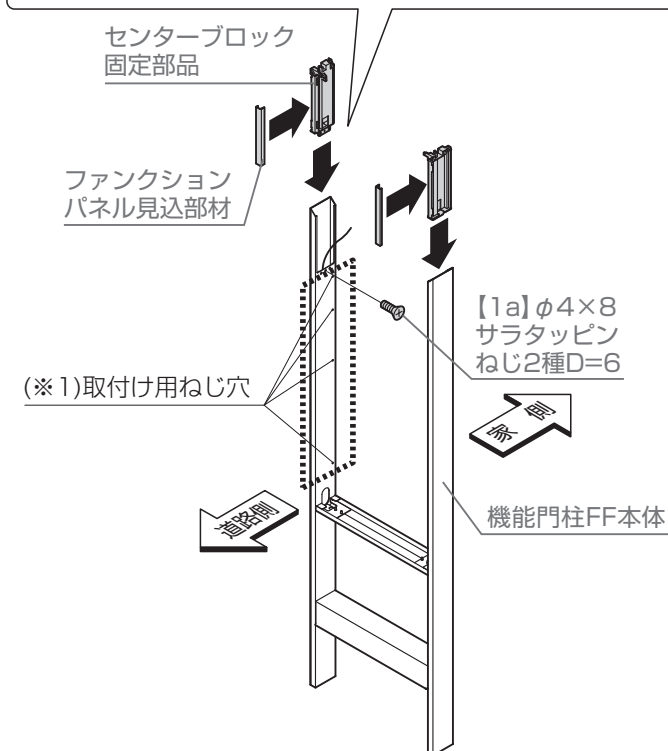
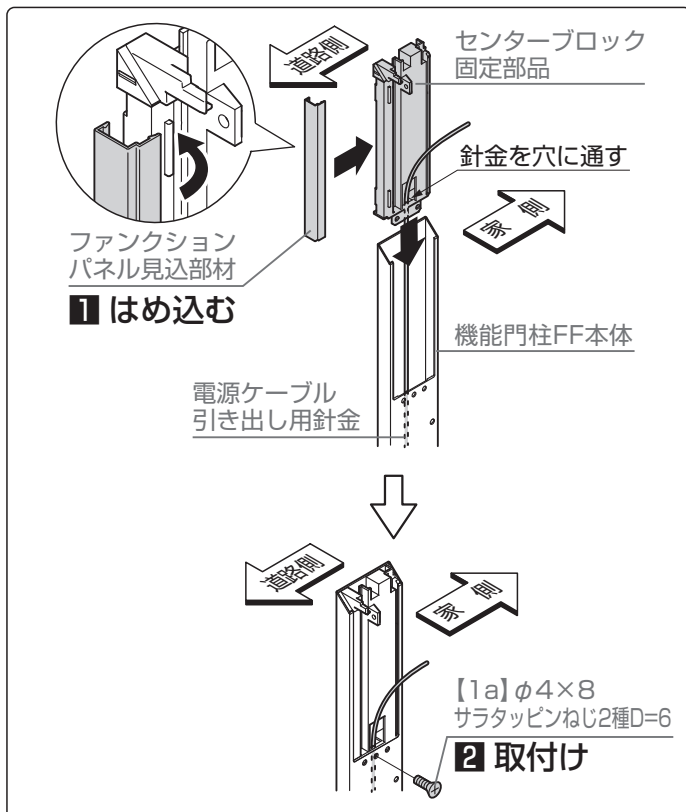
3 ポスト、宅配ボックスの取付け

3-2 センターブロック固定部品の取付け

- ❶: ファンクションパネル見込部材をセンターブロック固定部品にはめ込む
- ❷: センターブロック固定部品を柱に【1a】で取付け

施工上のお願い

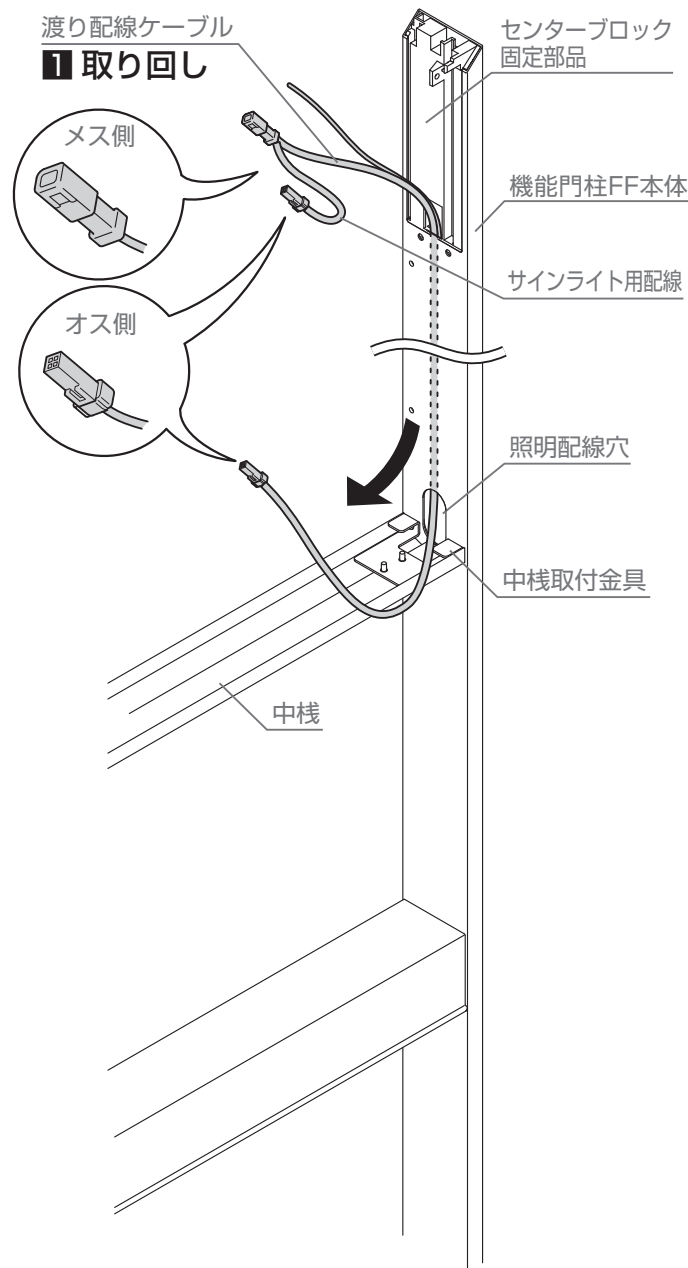
- 機能門柱FF本体のポストと宅配ボックスの取付用ねじ穴（※1）を家側寄りにして、センターブロック固定部品にファンクションパネル見込部材をはめ込んだ方を道路側にして、機能門柱FF本体にはめ込んでください。
- インターホン、灯具を取付けない場合は針金を外してください。



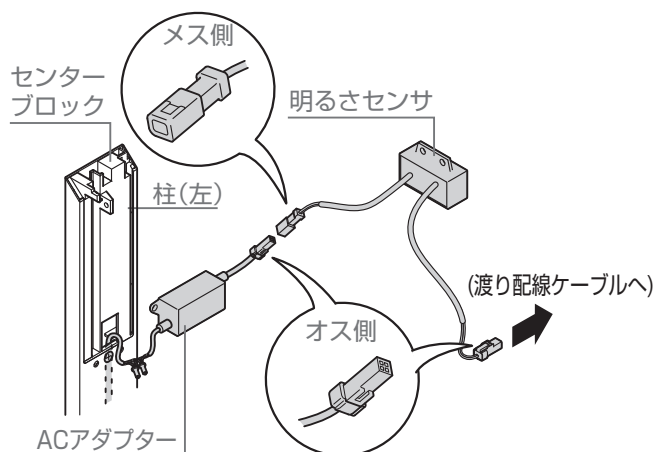
3-3 フットライトの取付け オプション

3-3-1 フットライト用の配線

- ❶: 渡り配線ケーブルの取り回し



▼ 明るさセンサを取付ける場合 ▼

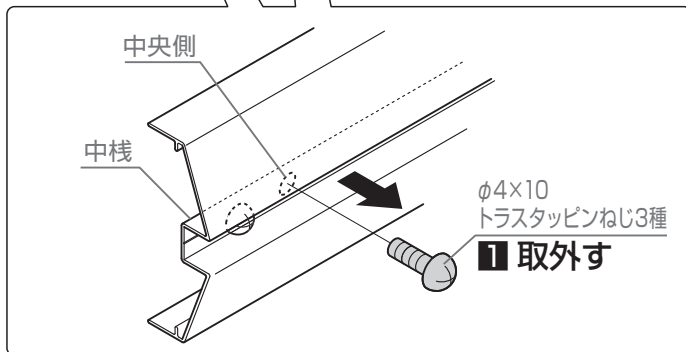
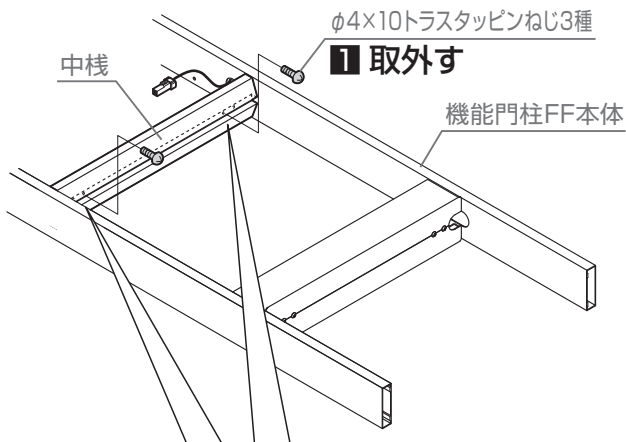


3 ポスト、宅配ボックスの取付け

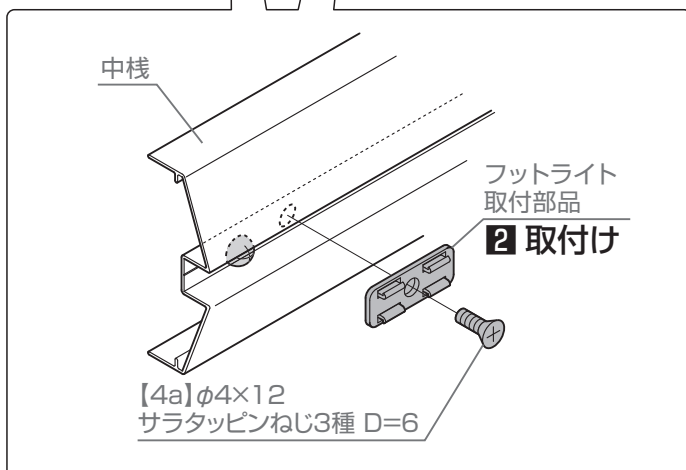
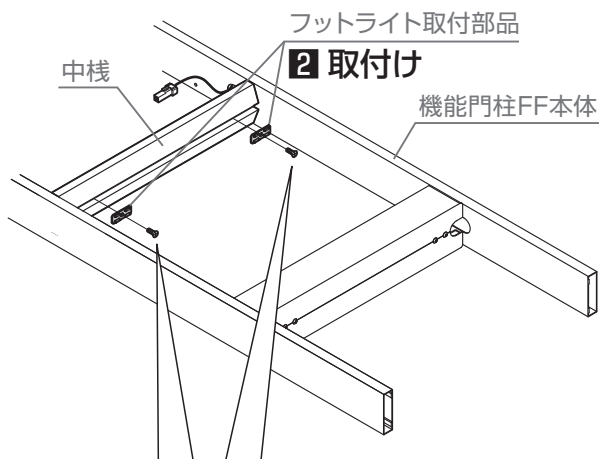
3-3 フットライトの取付け オプション

3-3-2 フットライトの取付け

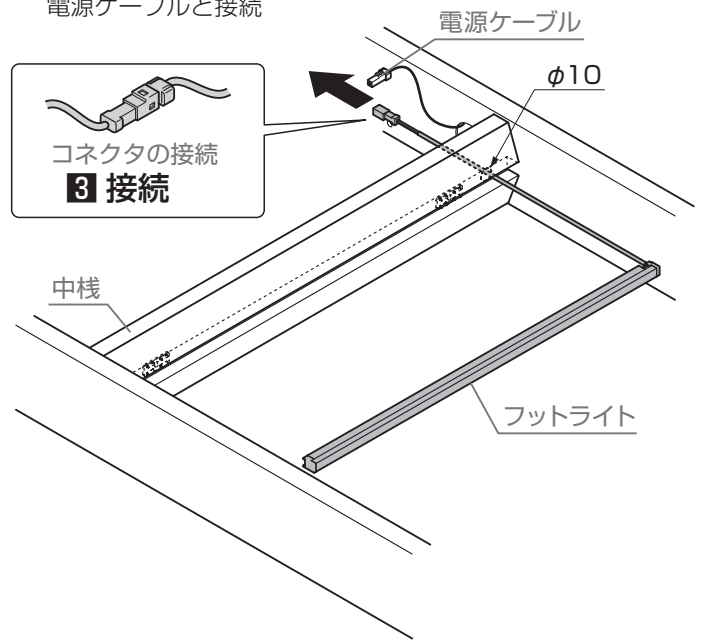
1: 中棧中央側の【φ4×10トラスタッピンねじ3種】を中棧から取外す



2: フットライト取付部品を中棧の中央側の穴に【4a】で取付け



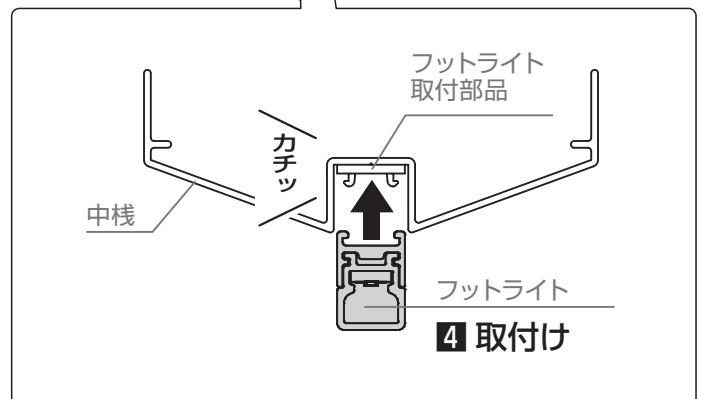
3: フットライトのケーブルを、中棧のφ10穴から取り回し、電源ケーブルと接続



4: フットライトをフットライト取付部品に取付け

施工上のお願い

●余ったケーブルは柱内にひきこんでください。



3 ポスト、宅配ボックスの取付け

3-4 機能門柱FF本体の仮置き

- 1: 機能門柱FF本体の梱包材を展開し、平らな面に敷く
- 2: ポストの投函フタ、宅配ボックスの外扉を下向きにして置く

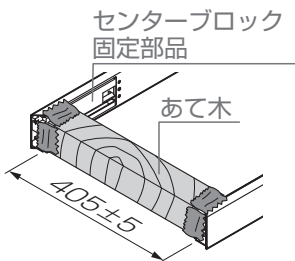
施工上のお願い

- 石などの異物が挟まらない様にしてください。傷につながる場合がございます。

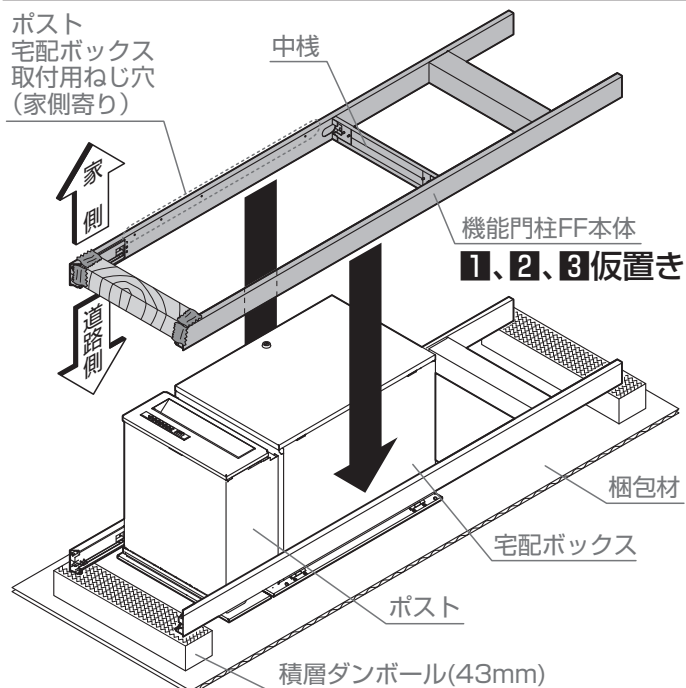
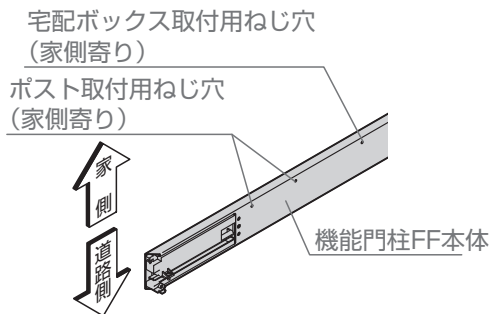
- 3: 機能門柱FF本体をポストと宅配ボックスを挟み込むように仮置き
※宅配ボックスの底面が中残に接触する位置で仮置きしてください。

施工上のお願い

- 宅配ボックスの底面が中残に接触する位置で仮置きしてください。
- 機能門柱FF本体の梱包材を展開し、平らな面に敷いてください。そのうえに積層ダンボールをかませ、機能門柱FF本体のねじ穴とポスト・宅配ボックスのねじ穴の高さが合うように調節してください。
- ポスト・宅配ボックスの取付用ねじ穴が、上寄り（家側寄り）になる向きで機能門柱FF本体を仮置きしてください。
※積層ダンボール(43mm)を咬ませたうえで、機能門柱FF本体のねじ穴とポストと宅配ボックスのねじ穴の高さが合わない場合は、機能門柱FF本体の表裏が逆の可能性があります。



- 同ねじ【1c】を以下のねじ穴に仮打ちし、ねじを立ててください。



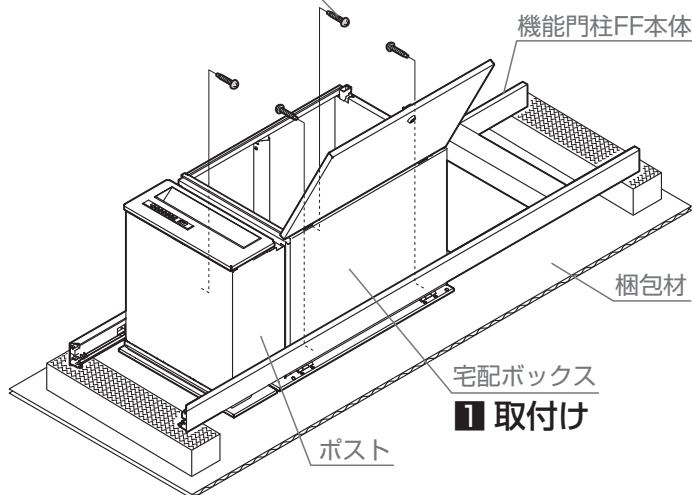
3-5 ポスト、宅配ボックスの取付け

- 1: 宅配ボックスを機能門柱FF本体に【1c】で取付け
- 2: ポストを機能門柱FF本体に【1c】で取付け

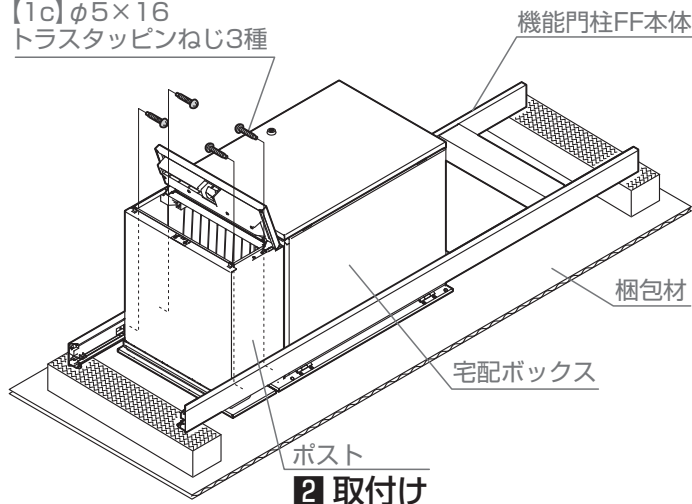
⚠ 注意

- 作業する側の扉のみを開いてください。両方の扉を開いたまま作業を行なうと、予期せず扉が閉まりケガをするおそれがあります。

【1c】φ5×16
トラスタッピンねじ3種



【1c】φ5×16
トラスタッピンねじ3種



補 足

- フレームを立てた状態でポストと宅配ボックスを取付けすることは可能です。
なお、あて木の使用とねじの仮打ちは同様に実施してください。

4 本体の建て込み

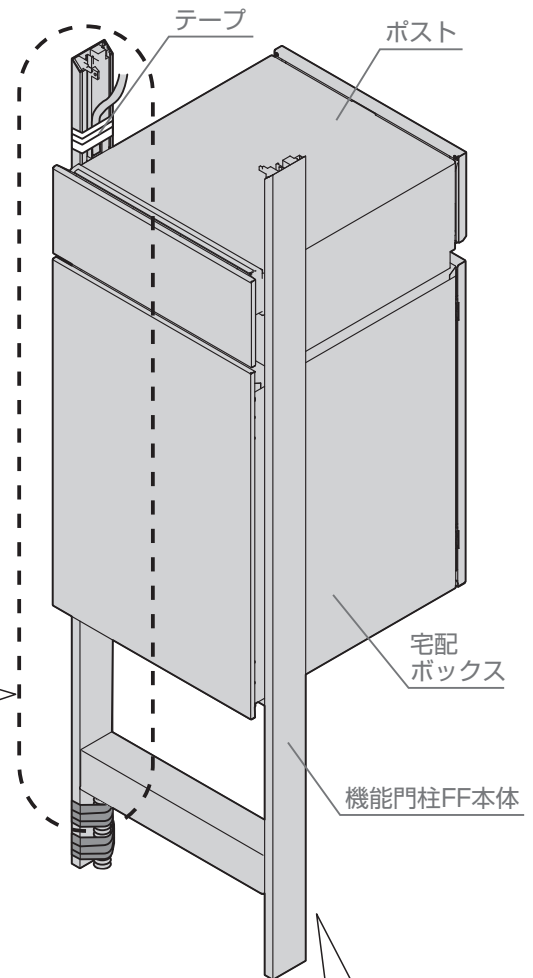
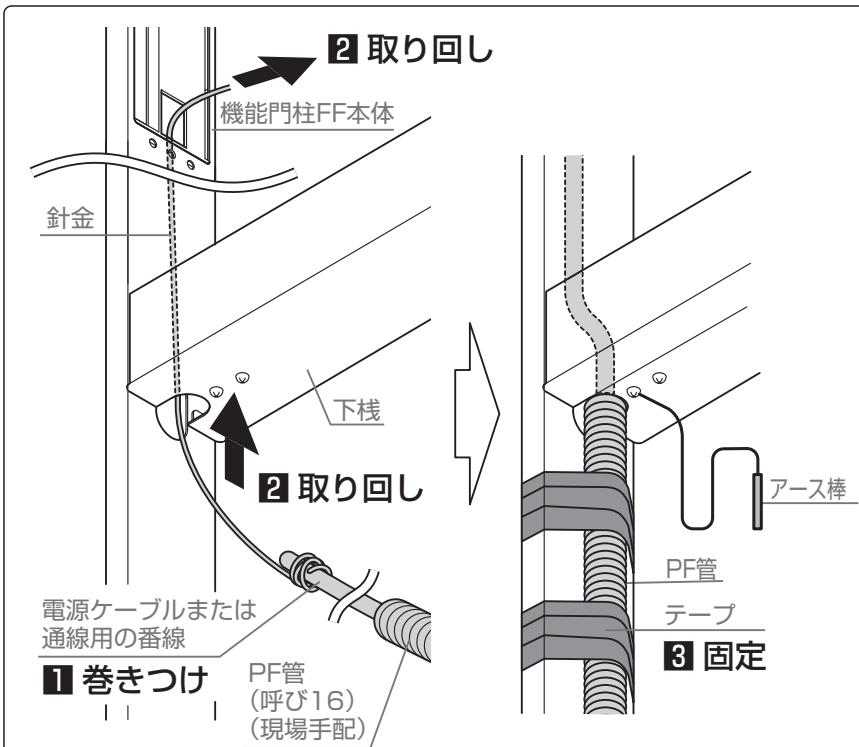
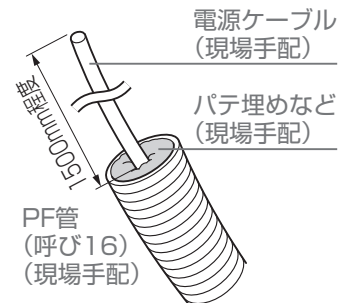
4-1 電源ケーブル、インターホン信号線の引き出し オプション

4-1-1 電源ケーブル（または通電用の番線）の引き出し

- 1: 電源ケーブルまたは通線用の番線に、取り回した針金を巻きつけ
- 2: 針金を引き上げて電源ケーブルまたは通線用の番線を柱内に取り回し
- 3: PF管と柱下部をテープ等で巻き付けて固定

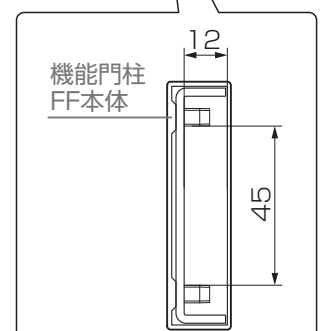
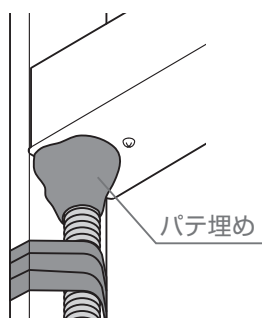
施工上のお願い

- 電源ケーブルはPF管より1500mm程度長くして、パテ埋めなどの処理を施してください。
- PF管は10～20mm程度下棧の穴に呑込ませて抜け落ちないようにしてください。
※指示の長さを守らないと配線が通せない場合があります。
- 配線を引出し後、各配線は柱の中に引込まれないようテープ等で固定してください。
- コンクリート打設後に通線を行う場合は、あらかじめ使用するPF管及び機能門柱の柱内に番線を通しておく必要があります。
- アース(D種接地工事)をとってください。



補足

- PF管を挿入した後、コンクリートの侵入を防ぐため、パテ埋めなどの処理を実施してください。



4 本体の建て込み

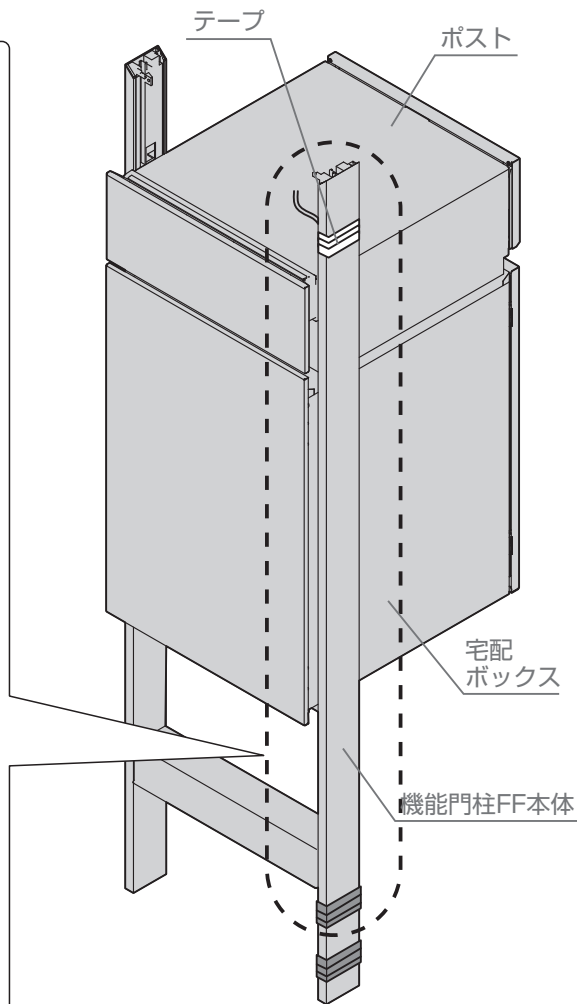
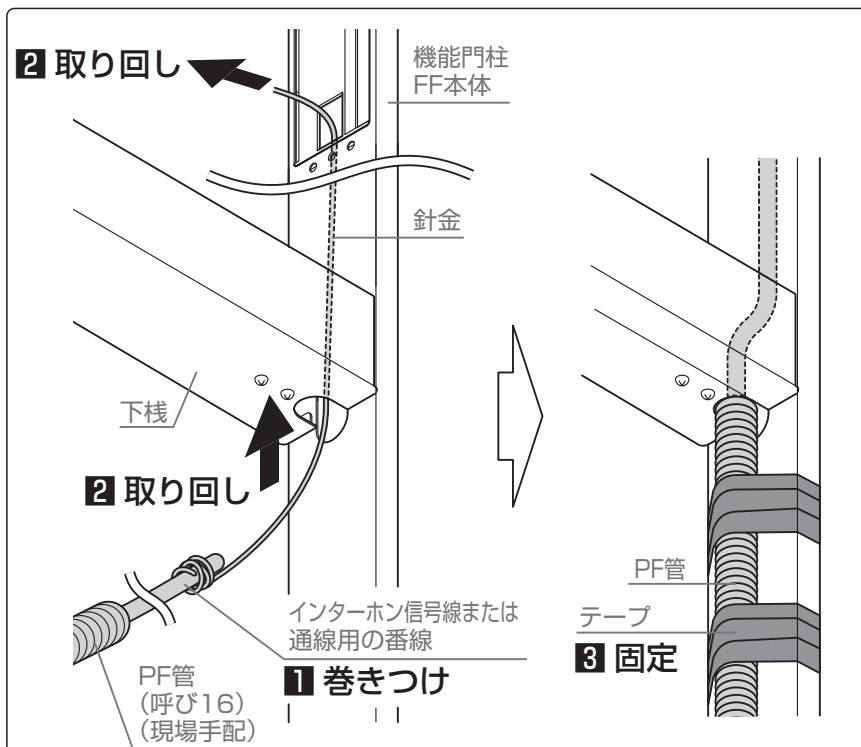
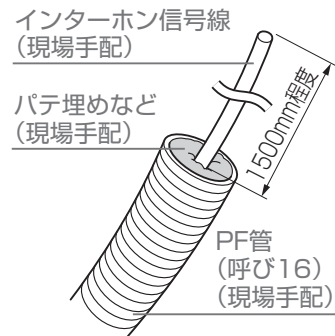
4-1 電源ケーブル、インターホン信号線の引き出し オプション

4-1-2 インターホン信号線（または通電用の番線）の引き出し

- 1: インターホン信号線または通電用の番線に、取り回した針金を巻きつけ
- 2: 針金を引き上げてインターホン信号線または通電用の番線を柱内に取り回し
- 3: PF管と柱下部をテープ等で巻き付けて固定

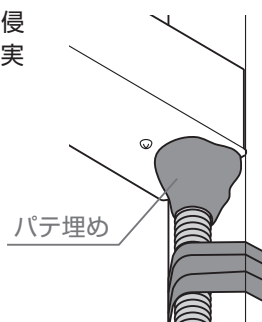
施工上のお願い

- インターホン信号線は、電源ケーブルとは反対の柱に通してください。
- インターホン信号線はPF管より1500mm程度長くして、パテ埋めなどの処理を施してください。
- PF管は10～20mm程度下木の穴に吞込ませて抜け落ちないようにしてください。
※指示の長さを守らないと配線が通せない場合があります。
- 配線を引出し後、各配線は柱の中に引込まれないようテープ等で固定してください。
- コンクリート打設後に通線を行う場合は、あらかじめ使用するPF管及び機能門柱の柱内に番線を通しておく必要があります。



補足

- PF管を挿入した後、コンクリートの侵入を防ぐため、パテ埋めなどの処理を実施してください。



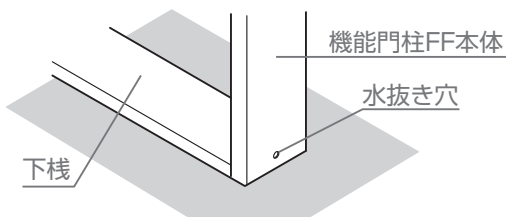
4 本体の建て込み

4-2 機能門柱FF本体の埋め込み

1: 基礎コンクリートを打設

⚠ 注意

- 水抜き穴をふさがないようにしてください。

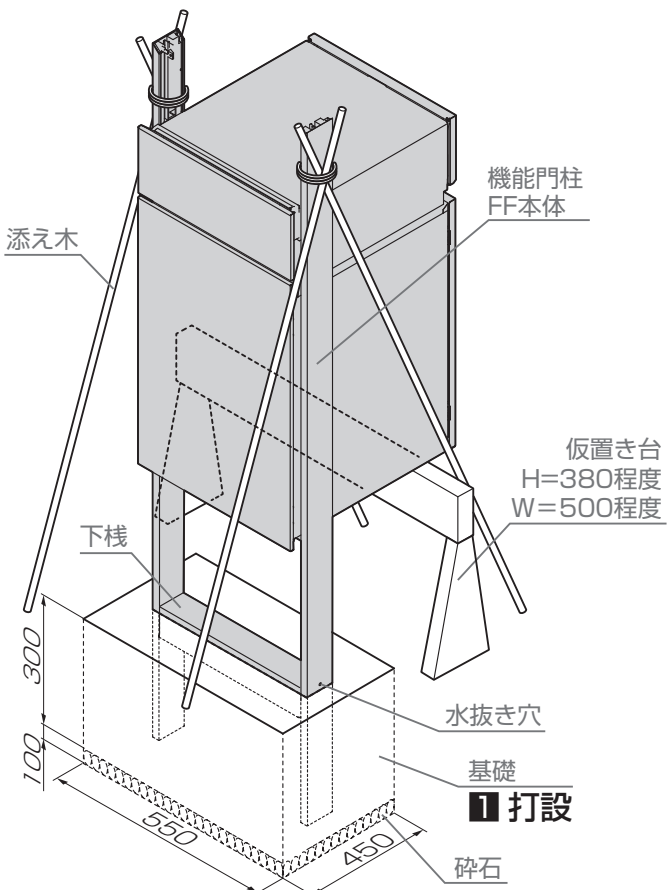
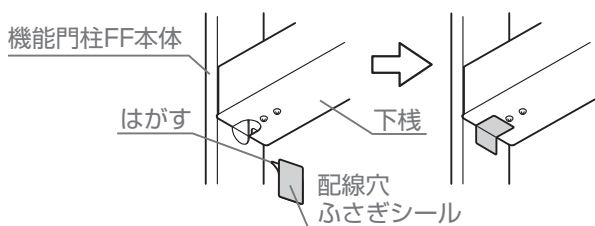


施工上のお願い

- 機能門柱FF本体の垂直を確認してください。
- コンクリートが固まるまで、機能門柱FF本体が倒れないように添え木などをしてください。
- 埋込みをする際は図のような仮置き台があると安定します。

▼ 配線をしない場合 ▼

- 配線穴ふさぎシールを下棧の配線穴に貼付けてください。柱や下棧へのコンクリート侵入を防ぎます。
- ※ 左右の配線穴にそれぞれPF管を入れる場合はシール貼り付けは不要です。



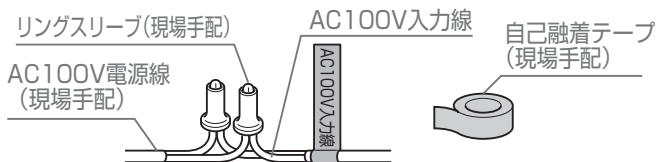
4-3 電源ケーブルの接続

オプション

1: 電源ケーブルとACアダプターのAC100V入力線を接続

⚠ 警告

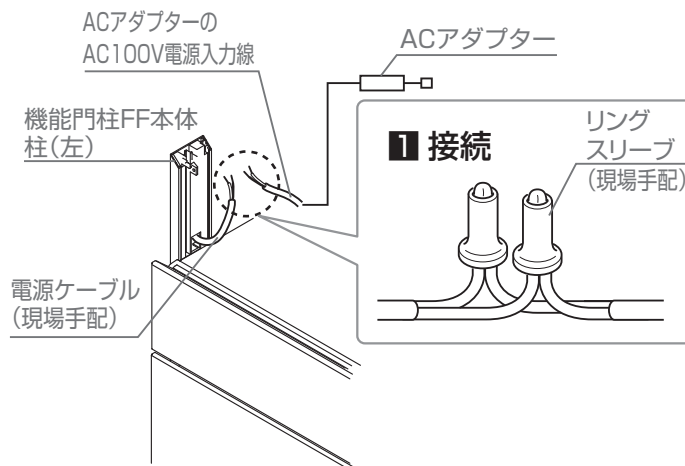
- 配線接続状態はリングスリーブやワンタッチコネクタで確実にを行い、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災、感電の原因になります。



- 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。

施工上のお願い

- コネクタ付きの線はDC12V出力線です。AC100Vを接続しないでください。
- 結線したACアダプターは、ポストの天面等、作業の妨げにならない位置に静置してください。



5 センターブロックの取付け

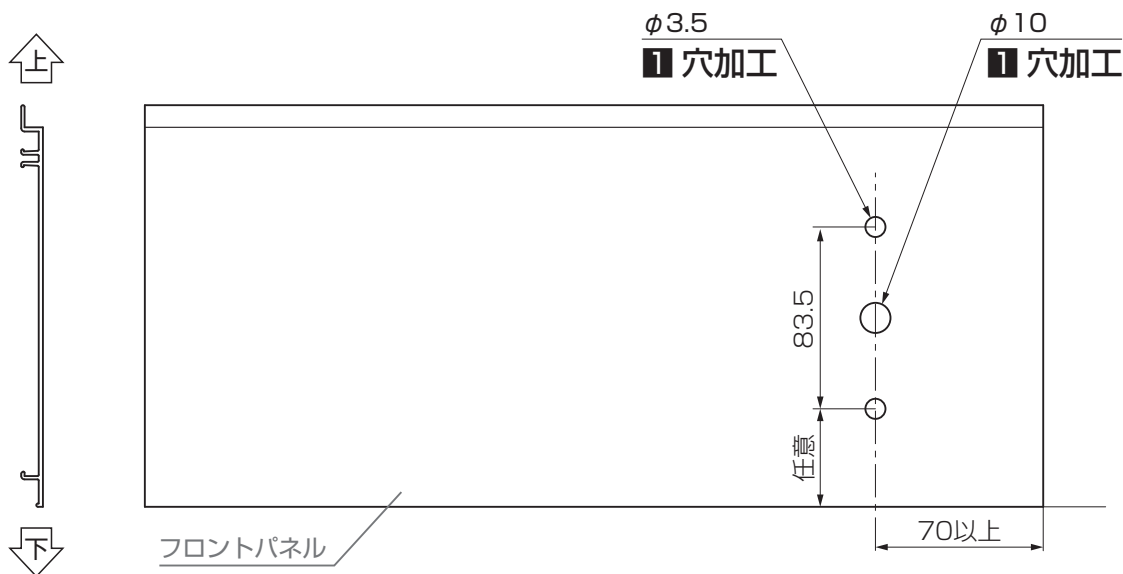
5-1 パネルの加工 オプション

5-1-1 フロントパネルの加工 ※インターホンを露出して取付ける場合のみの加工です。

■: フロントパネルに $\phi 10$ と $\phi 3.5$ の穴加工

施工上のお願い

- 左右どちらに加工しても取付けは可能です。
- サインを取付ける場合は、取付け寸法に注意してください。

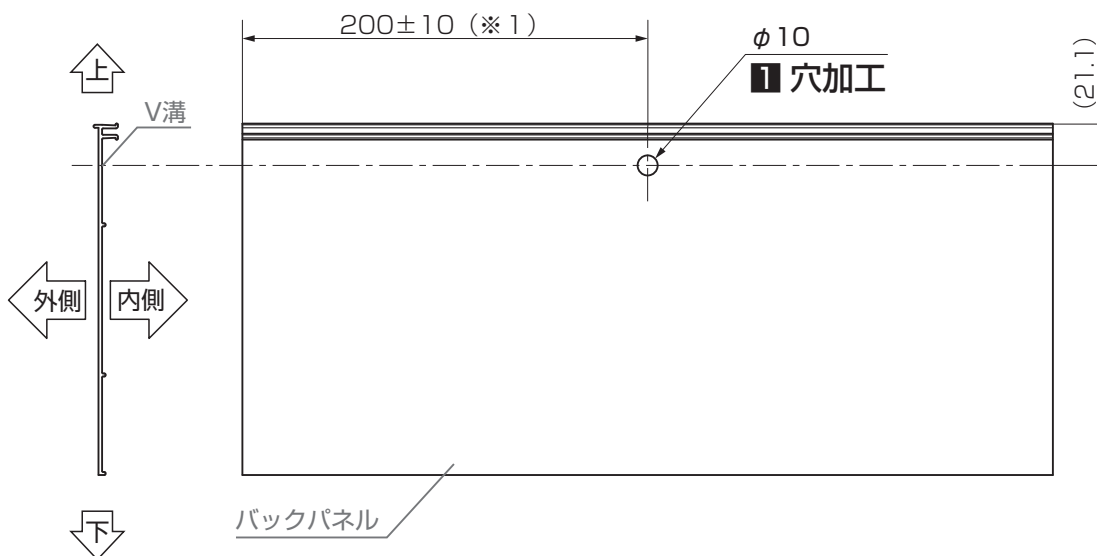


5-1-2 バックパネルの加工 ※明るさセンサーを取付ける場合のみの加工です。

■: バックパネルに $\phi 10$ の穴加工

施工上のお願い

- バックパネルにキズが付かないように一度内側から $\phi 3\sim 5$ の穴をあけてから $\phi 10$ の加工をしてください。(加工時に発生したバリは取り除いてください。)
- 200 ± 10 内に穴加工してください。範囲外に穴をあけると、明るさセンサーの配線引き回しがしづらくなります。(※1)

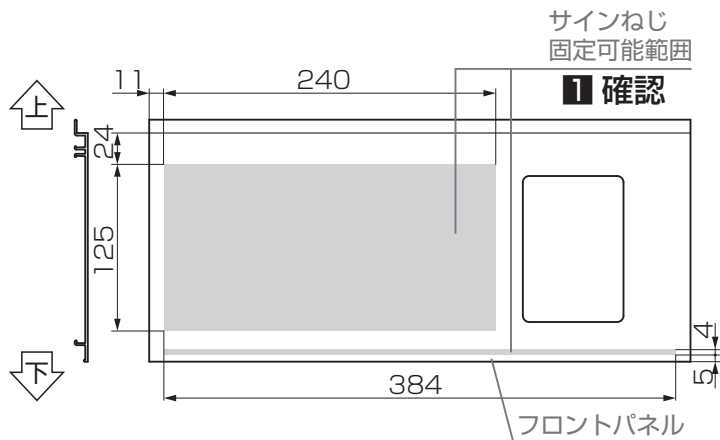


5 センターブロックの取付け

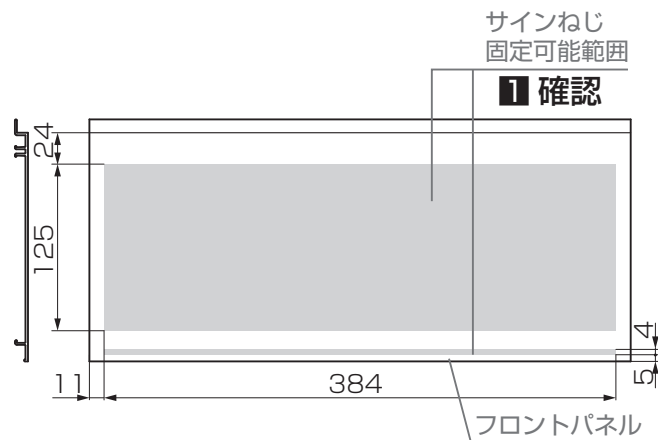
5-2 サインの取付け穴加工 オプション

1: サインのねじ固定可能範囲を事前に確認

▼ フロントパネル インターホン内蔵用の場合 ▼



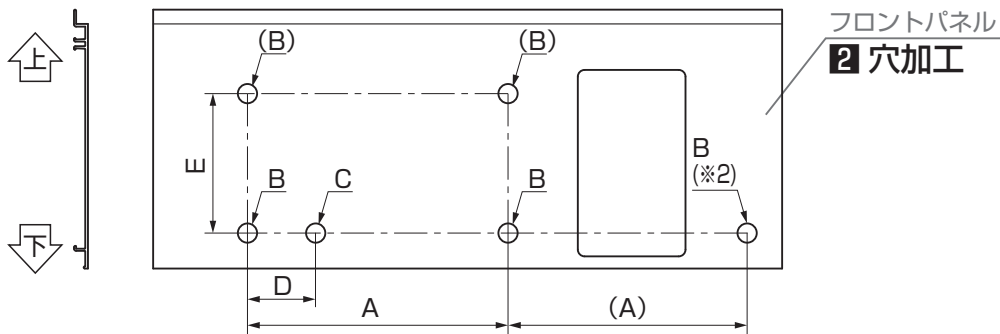
▼ フロントパネル 加工なしの場合 ▼



2: フロントパネルに穴加工

施工上のお願い

- 下表の参考寸法を下図の記号へ当てはめて、各サインに合った数の穴を加工してください。
※ 名称に▼記号が付いてるサインは機能門柱FF用サインを示します。
- 名入れ文字により取付けピッチが異なります。現物合わせしてください。(※1)
- 記載のないサインに関しては現物合わせで穴加工してください。
- 切り文字サイン 大 は3点止めになりますので、(A)の穴開けも必要です。(※2)



単位 mm

名称	A	B
▼チタン切り文字サイン	180	φ3
▼切り文字サイン 小	160	φ4
▼切り文字サイン 中	214	φ4
▼切り文字サイン 大	191	φ4
▼抜き文字プレートサイン	205	φ5
▼アクリルバーサイン	150	φ5
▼ガラスサイン	160	φ5
▼木目調サイン バックライトなし	131	φ5

名称	A	B
切り文字サイン A (小)	※1	φ4
切り文字サイン B (小)	※1	φ5
切り文字サイン C (小)	130	φ5
切り文字サイン D (小)	130	φ5
SUS 切り文字バーサイン	185	φ5
ステンレスサイン	110	φ5

※1 名入れ文字により取付けピッチが異なります。現物合わせしてください。

名称	A	B・(B)	E
ガラスサイン	110	φ5	110

名称	A	B	C	D
▼木目調サイン バックライトあり	131	φ5	φ10	11

5 センターブロックの取付け

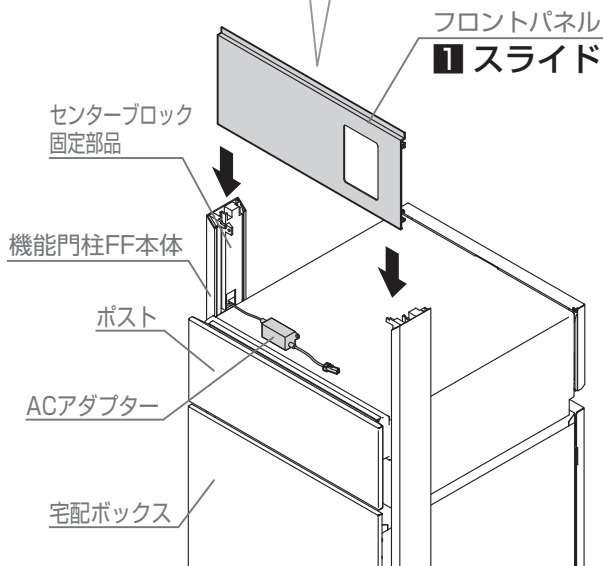
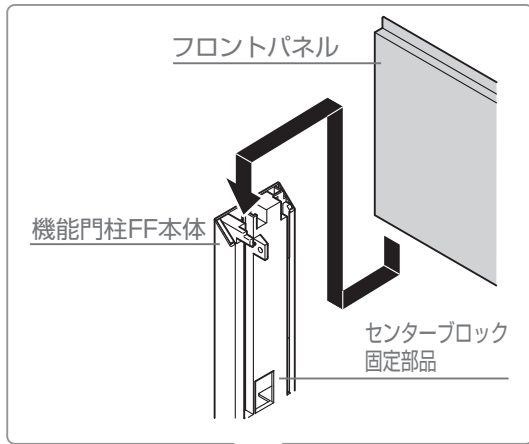
5-3 フロントパネルの取付け

1: フロントパネルをセンターブロック固定部品の溝にスライド

施工上のお願い

- フロントパネル上部にあて木をあてがい、プラスチックハンマー等ではめ込んでください。

- サインで「切り文字サイン(大)」を事前に取付けた場合は、一度サインを外してからスライドしてください。



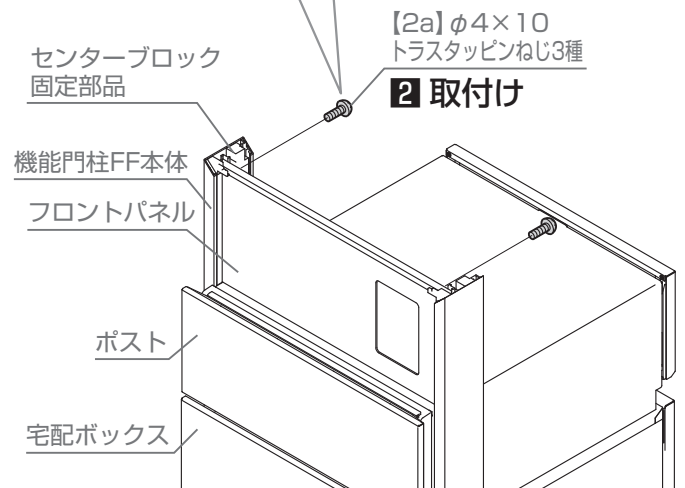
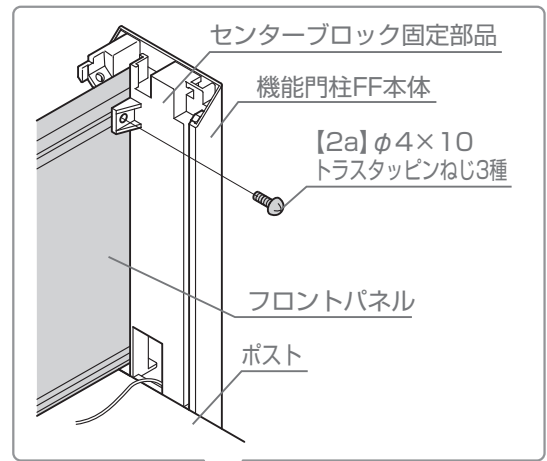
2: フロントパネルを【2a】で取付け

施工上のお願い

- フロントパネルとセンターブロックの間にすき間がないことと、柱の上部が開いていないことを確認してから【2a】を固定してください。

● 上から見た図

- 上が開いている場合は左右からあて木をあてがい、プラスチックハンマー等で調整してください



5 センターブロックの取付け

5-4 サインの取付け オプション

施工上のお願い

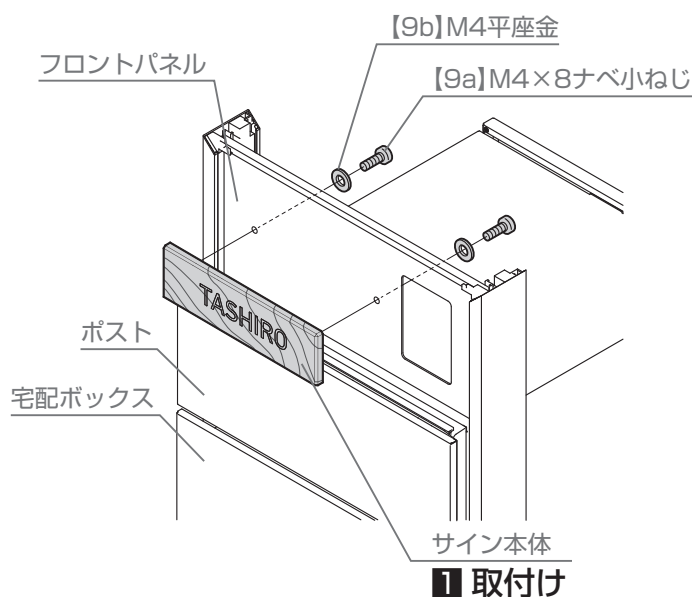
●記載のないサインに関しては現物合わせで穴加工後、同梱されているねじ類で固定してください。

補足

- 付属ネジの組立て、サインの詳細はサインの取付説明書を参照してください。
- サインを取付ける時、取付けネジを締め付けすぎないように取付けてください。

5-4-1 | 木目調サイン(バックライトなし)

1: 木目調サインをフロントパネルに【9a】、【9b】で取付け

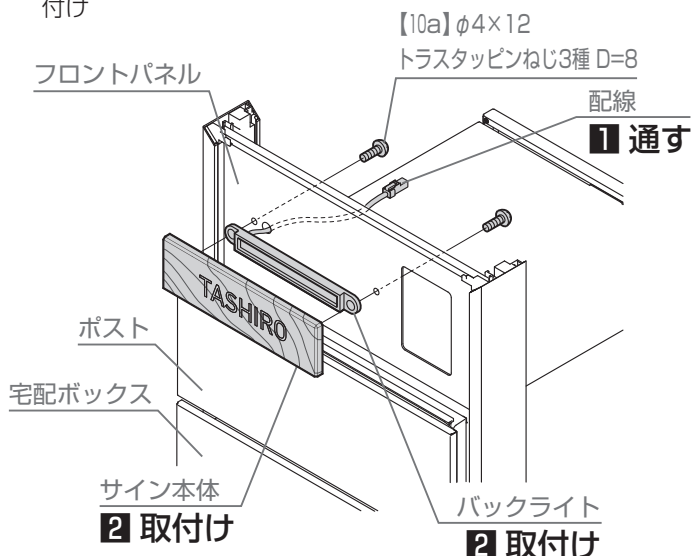


5-4-2 | 木目調サイン(バックライトあり)

施工上のお願い

●バックライトありの場合【9a】、【9b】は使用しません。

- 1: バックライトの配線をφ10の穴に通す
- 2: 木目調サインとバックライトをフロントパネルに【10a】で取付け

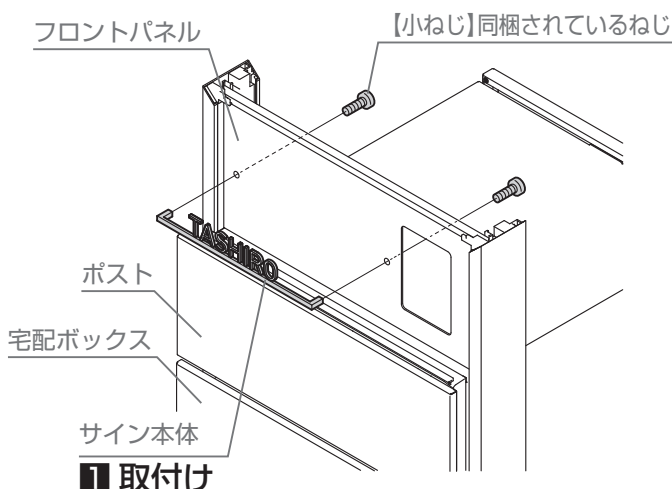


5-4-3 | 切り文字サイン(小)(中)(大) 抜き文字プレートサイン・アクリルバーサイン

施工上のお願い

●取付けに使用する「小ねじ」「ナット」についてはサイン本体によって異なります。梱包明細ご確認ください。

1: フロントパネルに【小ねじ】で取付け



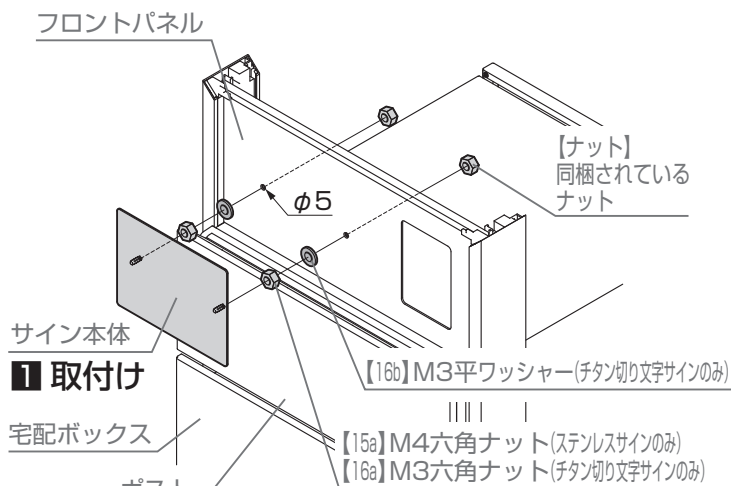
※図は切り文字サイン(中)を示す

5-4-4 | チタン切り文字サイン

施工上のお願い

●取付けに使用する「小ねじ」「ナット」についてはサイン本体によって異なります。梱包明細ご確認ください。

1: フロントパネルに【ナット】で取付け



※図はステンレスサインを示す

5 センターブロックの取付け

5-4 サインの取付け **オプション**

施工上のお願い

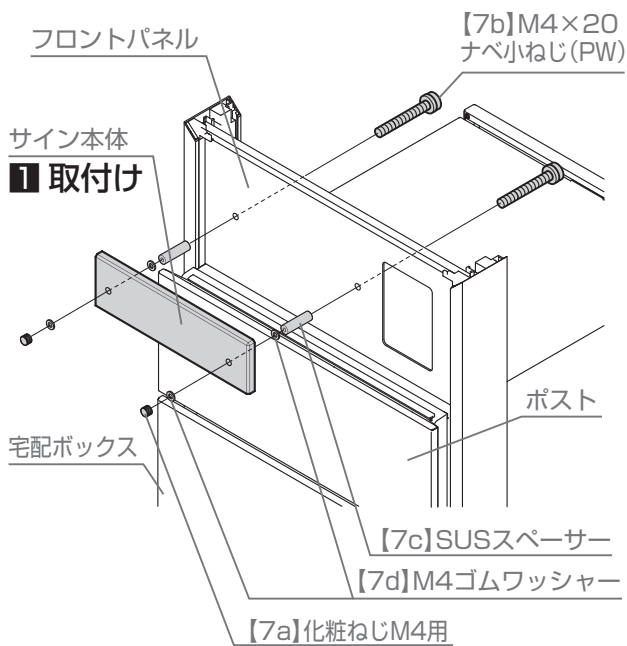
●記載のないサインに関しては現物合わせで穴加工後、同梱されているねじ類で固定してください。

補足

- 付属ネジの組立て、サインの詳細はサインの取付説明書を参照してください。
- サインを取付ける時、取付けネジを締め付けすぎないように取付けてください。

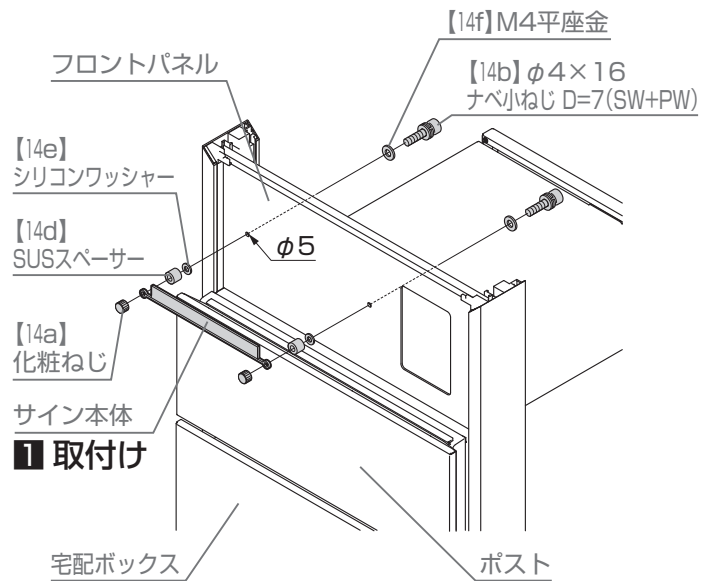
5-4-5 | ガラスサイン

■: フロントパネルに【7a】、【7b】、【7c】、【7d】で取付け



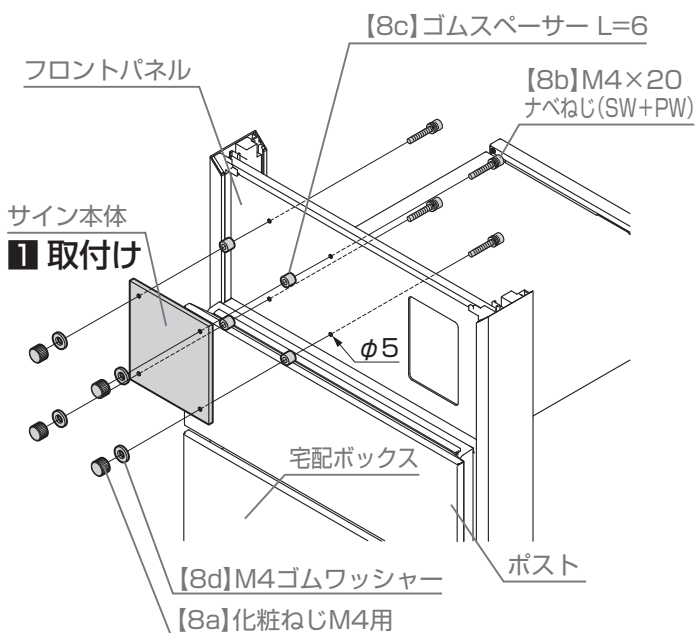
5-4-7 | SUS切り文字バーサイン

■: フロントパネルに【14a】、【14b】、【14d】、【14e】、【14f】で取付け



5-4-6 | ガラスサイン(145角)

■: フロントパネルに【8a】、【8b】、【8c】、【8d】で取付け



5 センターブロックの取付け

5-4 サインの取付け **オプション**

施工上のお願い

- 記載のないサインに関しては現物合わせで穴加工後、同梱されているねじ類で固定してください。

補足

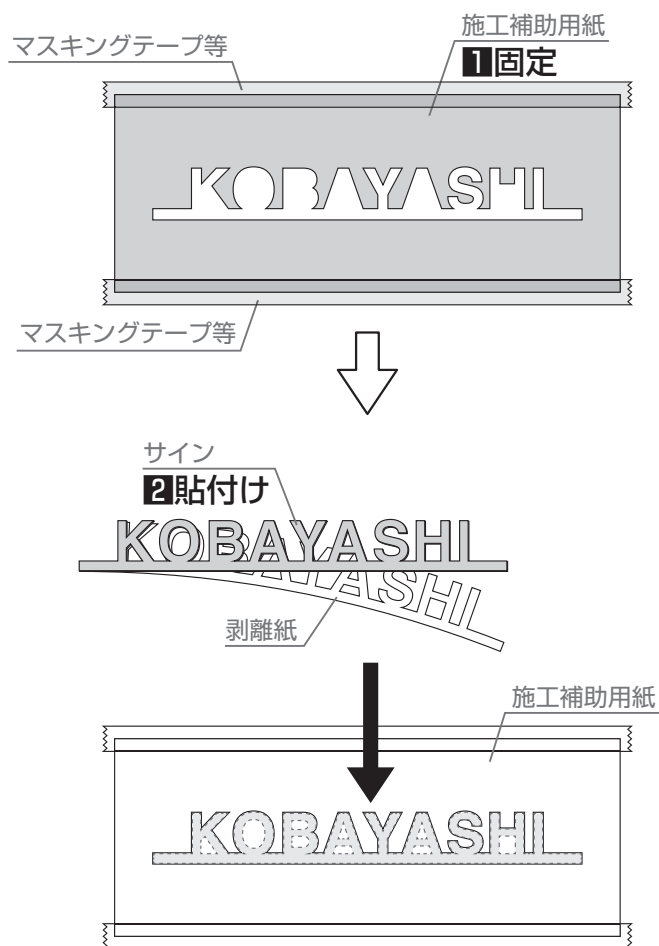
- 付属ネジの組立て、サインの詳細はサインの取付説明書を参照してください。
- サインを取付ける時、取付けネジを締め付けすぎないように取付けてください。

5-4-8 | 切り文字サインF (W220)

施工上のお願い

- 壁の汚れを十分に落としてください。
- 貼付けてから24時間は手を触れない様に保護をしてください。

- 1: 施工補助用紙をマスキングテープ等で壁に固定
- 2: サインの裏の剥離紙を剥がして施工補助用紙に沿って貼付け



5 センターブロックの取付け

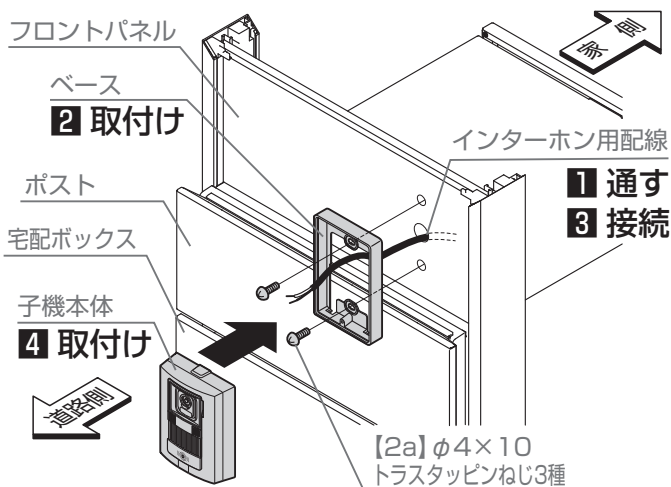
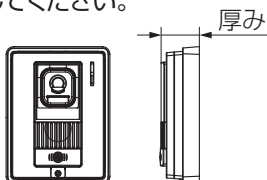
5-5 インターホンの取付け オプション

5-5-1 インターホン露出仕様

- 1: インターホン用配線をベースに通す
- 2: ベースをフロントパネルに【2a】で取付け
- 3: インターホン用配線の子機本体に接続
- 4: 子機本体をベースに取付け

施工上のお願い

- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けについてはインターホン子機の取付説明書を参照してください。
- インターホンを露出取付けする場合、厚みが33mm以下の製品のみ取付けが出来ます。33mmよりも大きいとポストの蓋を開いた際に当たるおそれがあります。

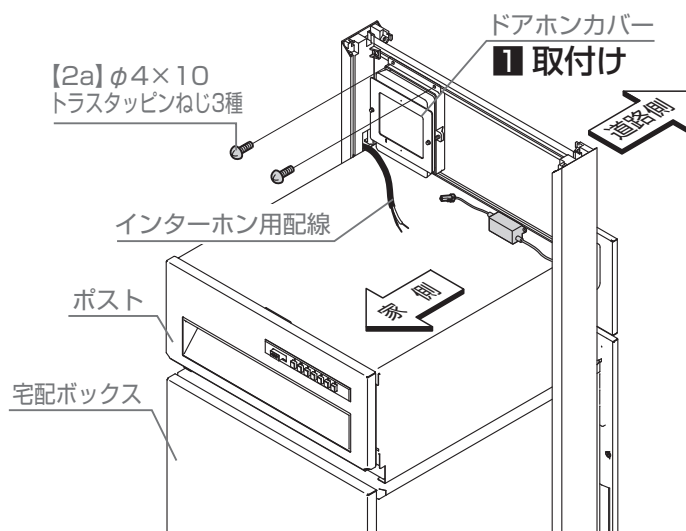
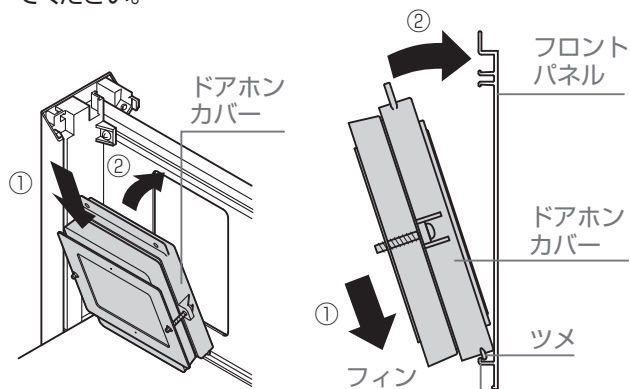


(2) ドアホンの取付け

- 1: ドアホンカバーをフロントパネルに【2a】で取付け

施工上のお願い

- 取付けの際に配線を接続してください。
- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けについてはインターホン子機の取付説明書を参照してください。
- ドアホンカバー下のフィンをフロントパネルのツメに引っかけてください。



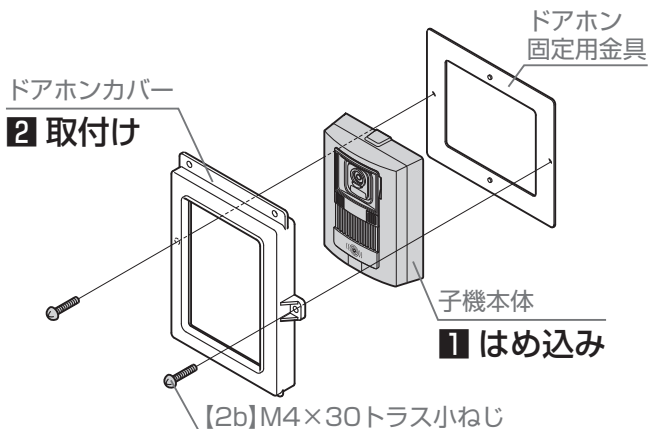
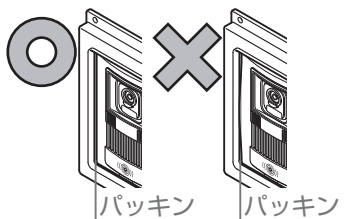
5-5-2 インターホン内蔵仕様

(1) ドアホンの組立て

- 1: 子機本体をドアホンカバーにはめ込み
- 2: ドアホンカバーをドアホン固定用金具に【2b】で取付け

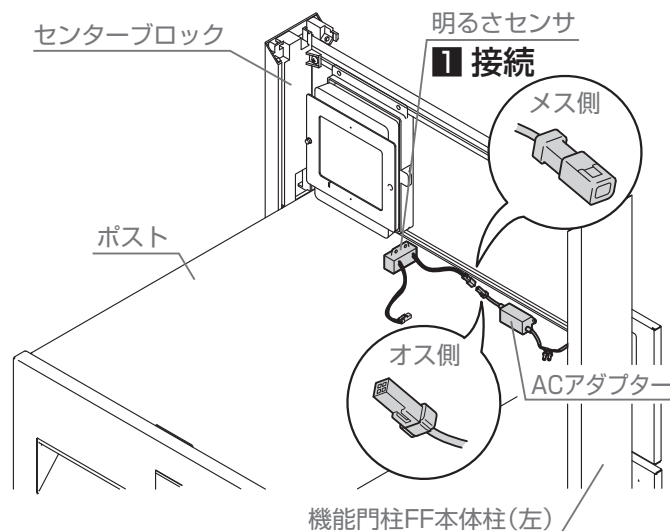
施工上のお願い

- パッキンの厚みが均等になるようにしてください。



5-5-3 センターブロック内の配線 ※照明を取付ける場合の作業

- 1: 明るさセンサと各配線を接続



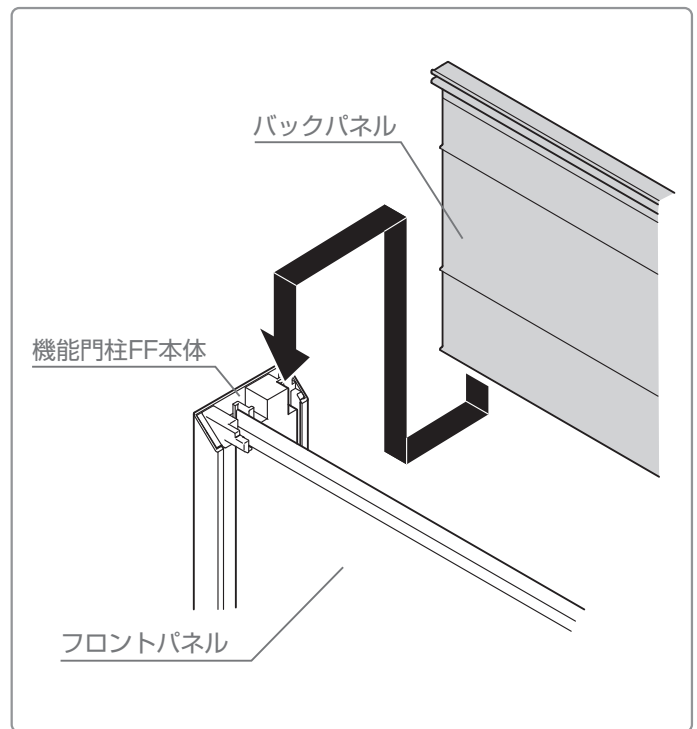
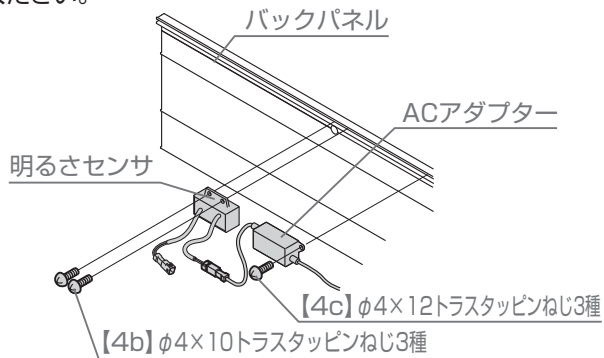
5 センターブロックの取付け

5-6 バックパネルの取付け

施工上のお願い

▼ 明るさセンサを使用する場合 ▼

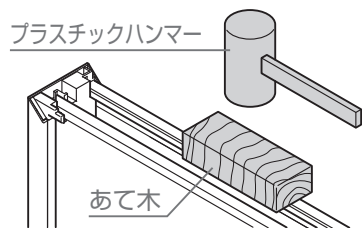
- 先に、明るさセンサ及びACアダプターをバックパネルに【4b】、【4c】で取付けてください。明るさセンサは「5-1-2 バックパネルの加工」を参照してください。ACアダプターは、サインやインターホンの取付に干渉しない位置に取り付けてください。



- 1: バックパネルをセンターブロック固定部品の溝にスライド

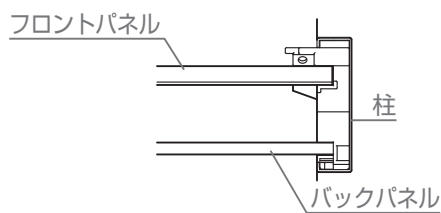
施工上のお願い

- バックパネル上部にあて木をあてがい、プラスチックハンマー等ではめ込んでください。

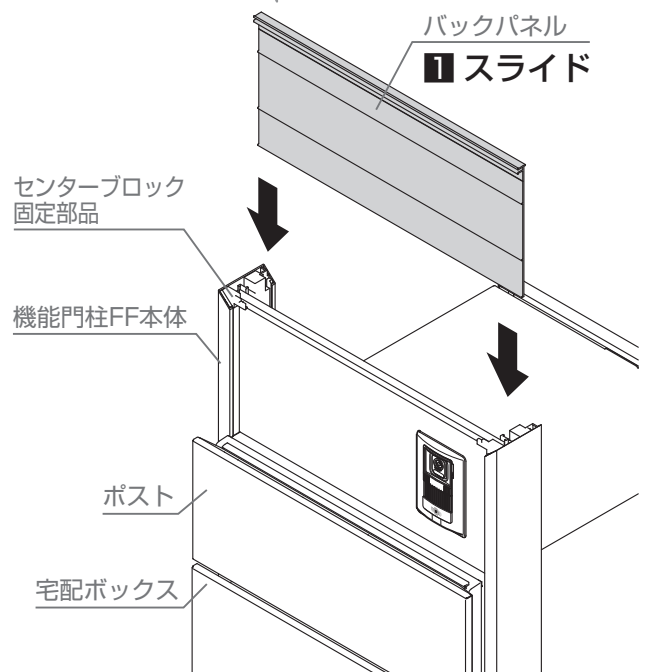
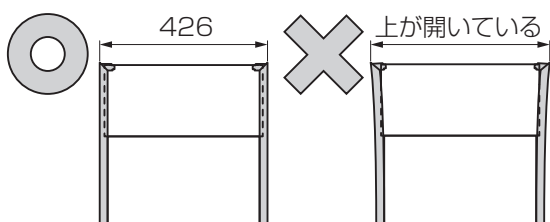


- 柱の上部が開いていないことを確認してください。

●上から見た図



- 上が開いている場合は左右からあて木をあてがい、プラスチックハンマー等で調整してください



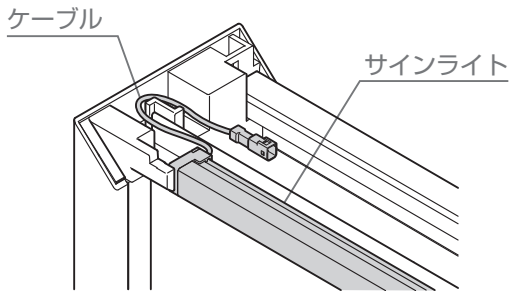
5 センターブロックの取付け

5-7 サインライトの取付け オプション

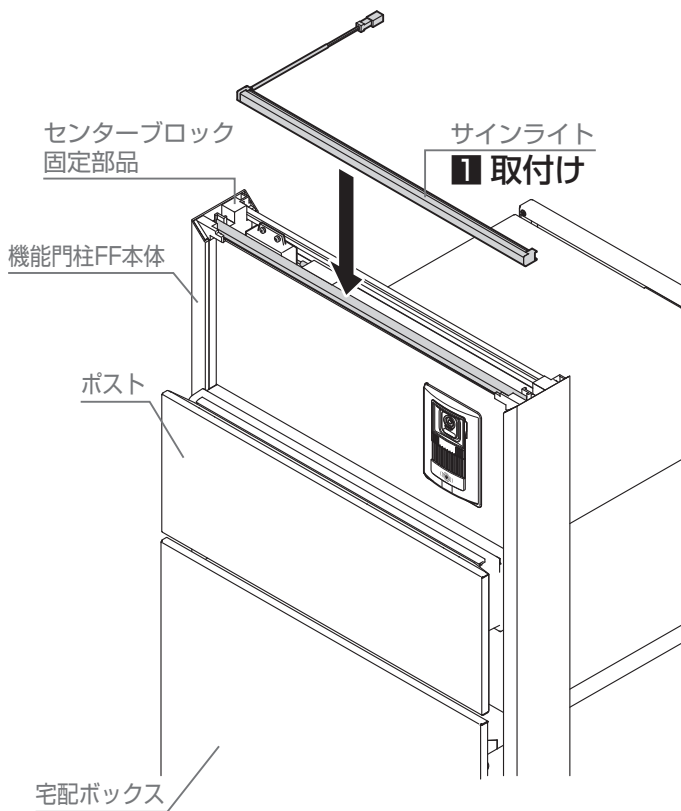
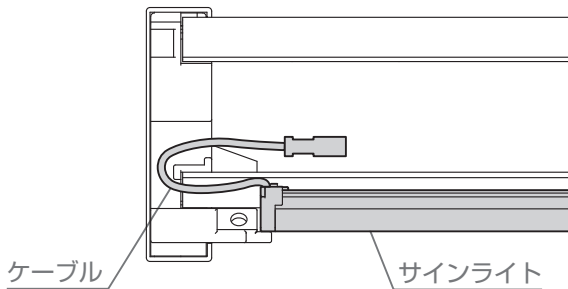
①: サインライトをセンターブロック固定部品に取付け

施工上のお願い

- 図のようにケーブルを取り回してください。



●上から見た図



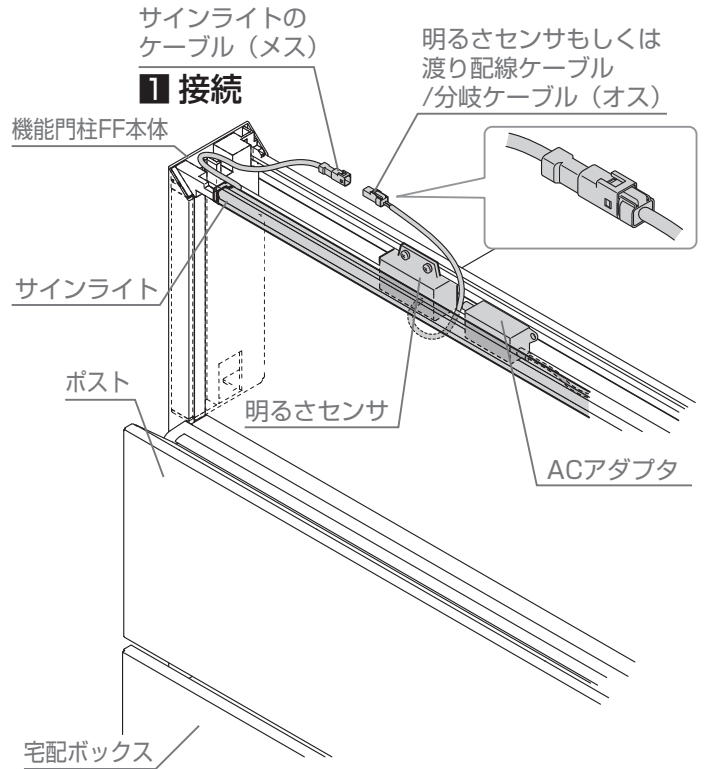
5-8 照明配線の接続 オプション

5-8-1 | サインライトを使用する場合

①: サインライトのケーブル(メス)を接続

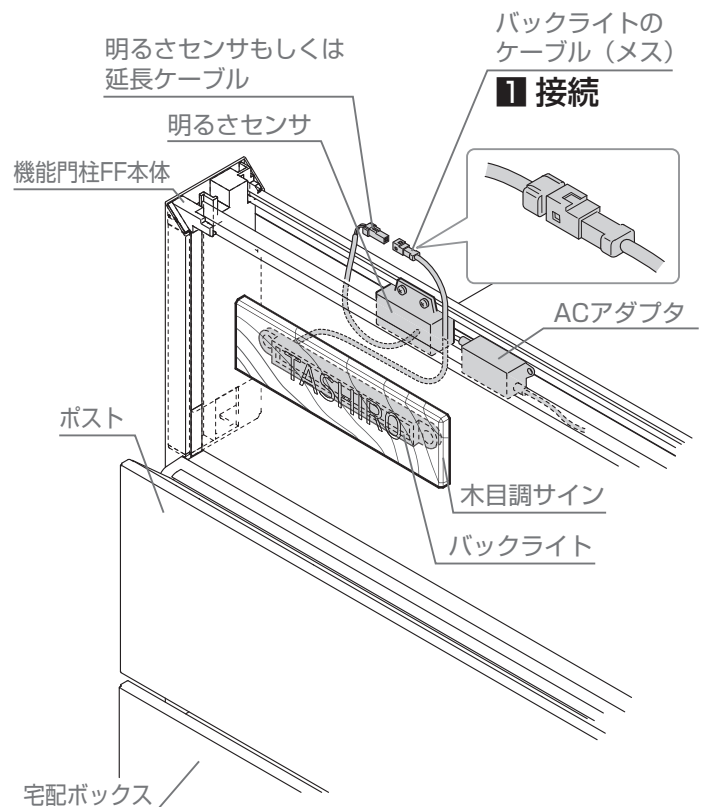
施工上のお願い

- フットライトを使用する場合はP12をご確認ください。



5-8-2 | 木目調サイン(バックライトあり)を使用する場合

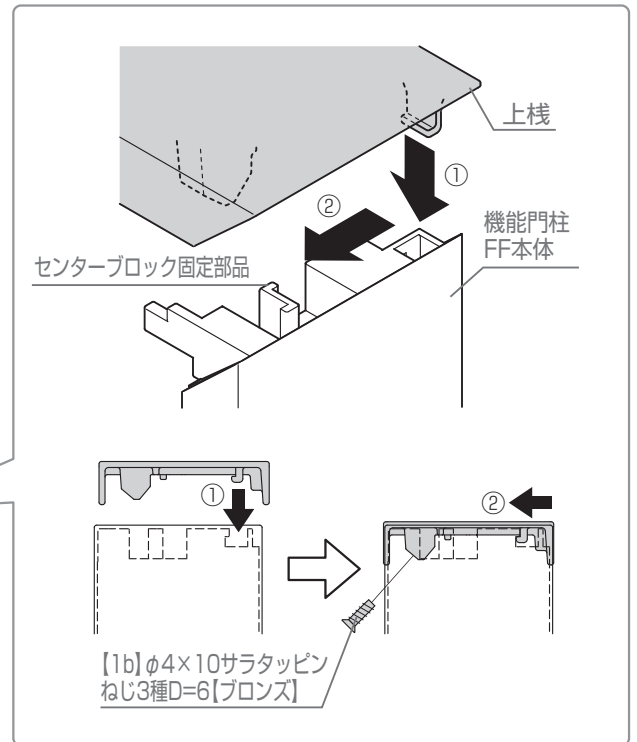
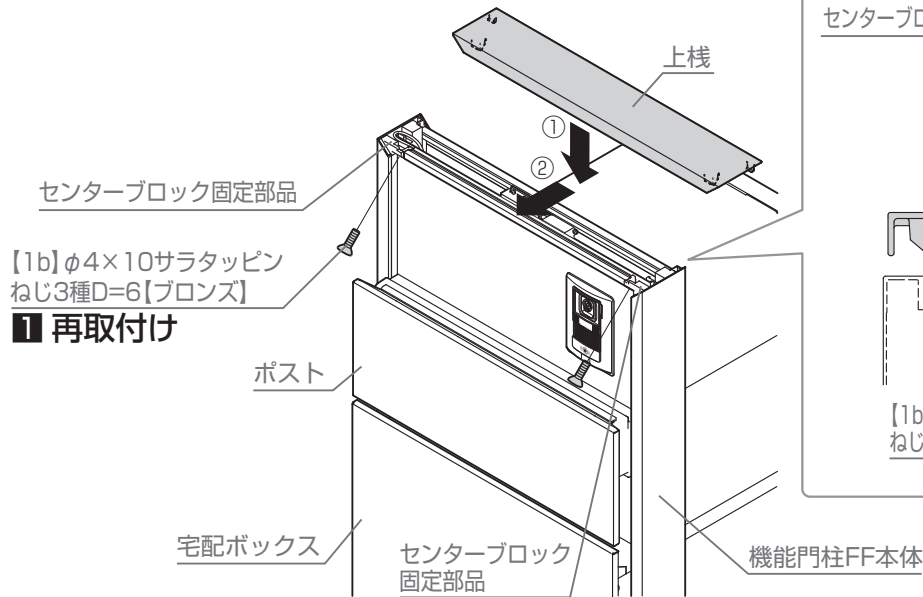
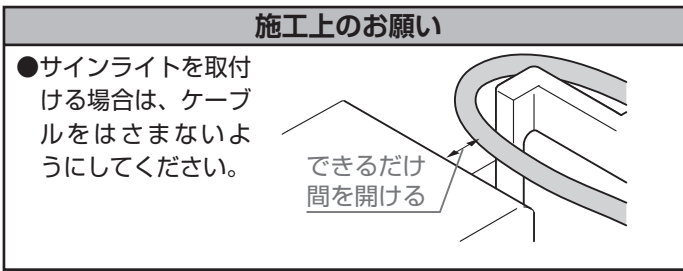
①: バックライトのケーブル(メス)と明るさセンサもしくは延長ケーブルを接続



5 センターブロックの取付け

5-9 上棧の取付け

①: 上棧をセンターブロック固定部品に【1b】で再取付け

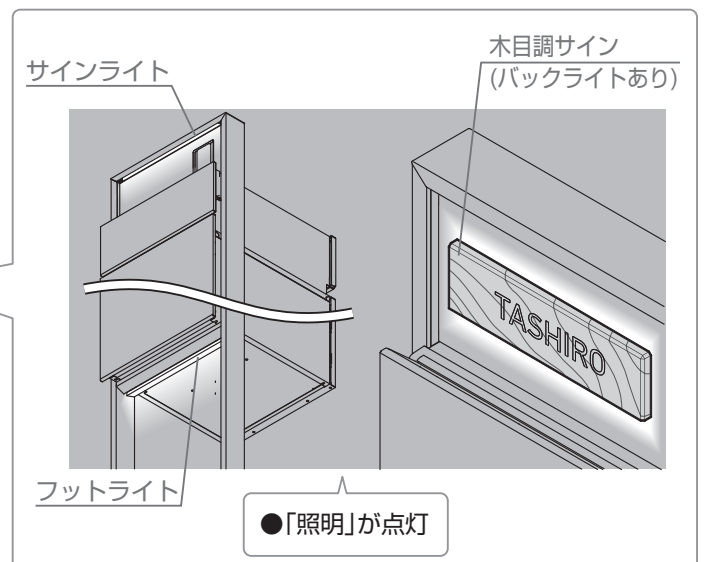
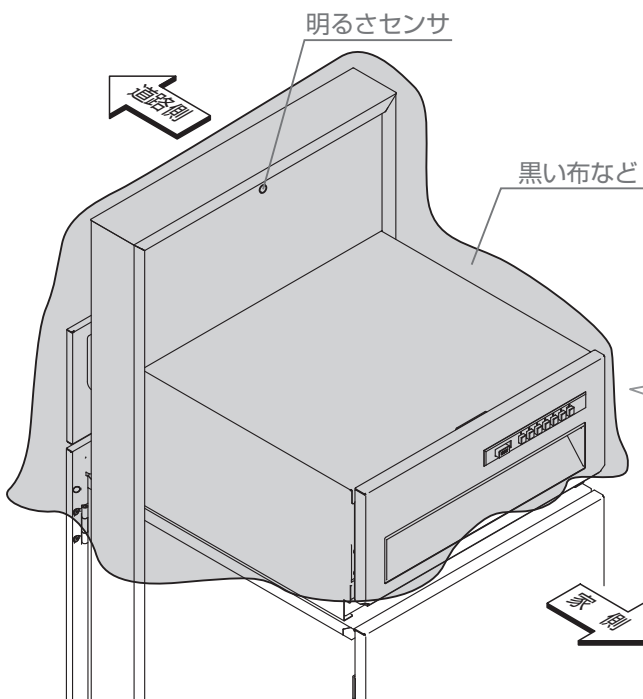


6 動作の確認

6-1 照明の点灯、消灯確認 **オプション**

施工上のお願い

●環境内の光の量で点灯・消灯しますので、日中は黒い布などで環境光を遮断して照明の点灯確認をしてください。



7 施工後の確認

チェック

埋め込みラインシールの確認

- ポスト、宅配ボックスの埋め込みラインシールをはがしてください。

チェック

明るさセンサの点灯確認

- サインライト、フットライトの点灯確認は実施しましたか？

チェック

錠の確認

- 内扉の錠は施錠状態になりますか？
- 内扉を施錠状態にして、後扉をシリンダー錠で開け、内扉が解錠状態になりますか？
- 内扉を施錠状態にして、前扉をシリンダー錠で開け、内扉が解錠状態になりますか？
- 動作確認後付属のキーはすべて(4本)お施主様にお渡しください。

チェック

垂直水平の確認

- 製品は垂直水平に沿って取付けられていますか？

チェック

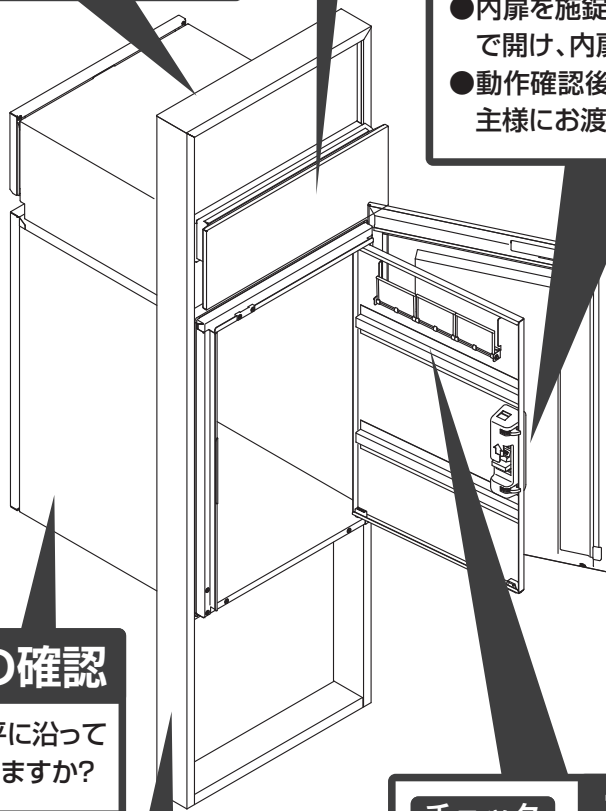
外観の確認

- 製品にキズ、へコミ、歪みはありませんか？
- 切粉が筐体内外に残っていませんか？

チェック

フラップの確認

- ストッパーの有無は確認していますか？
- ストッパーを外している場合はストッパーは大切に保管し、お施主様へお渡しください。



取説コード

EXM-141

JZZ638941
202312_1049